brother

MFC-8820JN

取扱説明書　～パソコン活用編～

本書はなくさないように注意し、
いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

本書の使い方・目次

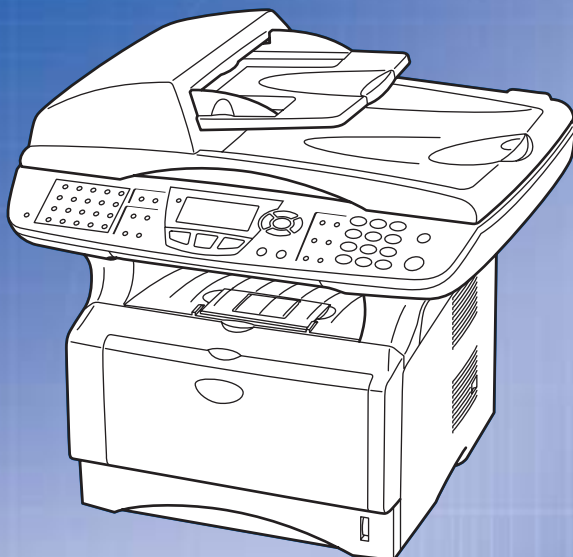
プリンタ

スキャナ

リモートセットアップ

PC-FAXを使用する

その他の便利な使い方（ControlCenter2.0）

付 録

お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）

0120-143410

この商品の取り扱い・操作障害についてのご不明な点がございましたら、
上記お客様相談窓口にお気軽に申しつけください。

●受付時間／9:00～20:00（土曜日のみ17:00まで）
●営業日／月曜日～土曜日（日・祝日および当社休日は休みとさせていただきます。）

添付ソフトウェア（Presto!® PageManager®）につきましては、
ニューソフトジャパンカスタマーサポートセンター
TEL/03-5472-7008　FAX/03-5472-7009

●受付時間／午前10:00～12:00・午後1:00～5:00（土日・祝日を除く）

やりたいことがすぐ探せる! **やりたいこと目次** 8P

トナーカートリッジとドラムユニットの回収リサイクルのご案内

http://www.brother.co.jp/jp/printer/recycle/

ブラザーでは環境保護に対する取り組みの一環としてトナーカートリッジとドラムユニットのリサイクルに取り組んでおります。使い終わりましたブラザー製トナー/ドラムがございましたら回収にご協力お願い申し上げます。詳しくは、ホームページをご参照ください。

国際エネルギースタープログラム

この制度は、地球規模の問題である省エネルギー対策に積極的に取り組むために、エネルギー消費の少ない効率的な製品を、開発・普及させることを目的とします。
当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

VCCI規格

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

レーザーに関する安全性

本製品は、米国において、保健および安全に関する放射線規制法（1968年制定）にしたがった米国厚生省（DHHS）施行基準で、クラスⅠレーザー製品であることが証明されており、危険なレーザー放射のないことが確認されています。
製品内部で発生する放射は保護ケースと外側カバーによって完全に保護されており、ユーザーが操作しているときに、レーザー光が製品から漏れることはありません。

警告

（本書で指示されている以外の）機器の分解や改造はしないでください。レーザー光線への被ばくや、レーザー光漏れによる失明の恐れがあります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

電源高調波

本機器は社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会が定めた複写機および類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

MFC **1年間無償保証**

ブラザーMFC は下記のアフターサービスメニューをご用意致しております。

故障かな？と思ったら．．．

お客様相談窓口へお電話ください。

取扱説明書の表紙に記載された、フリーダイヤル[お客様相談窓口]へお電話ください。
お客様の製品の状態を、お電話による質疑応答により診断。
E-mailでのお問い合わせ：
http://www.brother.co.jp/jp/mail_service_id/index.html
http://solutions.brother.co.jp/contact/index.html

修理が必要と診断された場合

48時間以内に、故障機の回収手配。*1

事前にお客様のご都合をお伺いし、宅配便による故障機の回収を手配します。
お客様によるサービスセンターへの持ち込みは不要です。

ご希望に応じて、貸出機のサービスもご用意。*2

修理期間中に電話・ファクスが無いと困る！というお客さまには、貸出機をご用意します。
宅配便手配の際にお申し付けください。

7日以内に修理品を返送。

弊社到着後、7日以内にお客様へ修理完了品をお返しします。

*1　一部地域を除く
*2　正常動作の確認・整備をした機械（ただし、トナー・ドラムは除く）

ブラザーサービスパック

1年間の無償保証期間“Service Express”に加え、さらに充実した保守サービスメニューをご用意しております。（有料）

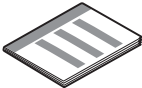
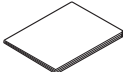
サービスパック

製品購入と同時に購入して頂けるサービスプログラムです。
2年もしくは3年間の長期保証契約ですので、割安にサービスを受けられるメリットがあります。

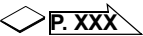
年間保守サービス

製品ご購入後、いつでもご契約できる1年単位のサービスプログラムです。

※各保守契約については、［出張修理］か［引取り修理］を選択していただけます。

- 上記2つの保守契約には、技術料／部品代が含まれます。
- 出張修理は原則、コール受付の翌営業日にエンジニアが設置先へ訪問し修理対応します。出張修理契約には、出張料が含まれております。
- 引取り修理は、宅配業者による故障機の回収手配をし、修理完了後返送します。引取り修理契約には、送料も含まれております。
- サービス提供時間：月～金（除く祝祭日、弊社休業日）9:00～17:00

各保守契約についての料金体系・サービス内容の詳細は、下記の窓口へお問い合わせください。
TEL : 052-824-3253
http://www.brother-hanbai.co.jp/brother_support/index.html

取扱説明書の構成

本機には、以下の取扱説明書が同梱されています。

	かんたん設置ガイド 本機を使用するための準備について記載しています。
	取扱説明書 コピーのしかたや本機のお手入れ、困ったときの対処法などについて記載しています。
	CD-ROM ・**取扱説明書　～パソコン活用編～（本書）** 付属の CD-ROM に収録されている「PDF マニュアル」です。 プリンタ、スキャナなど、パソコンと接続して使う機能について記載しています。 ・**ネットワーク設定説明書** ネットワークプリンタ、ネットワークスキャンなどネットワーク環境で使う機能について記載しています。

本書の表記

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

マークについて

注意	本機をお使いになるにあたって、守っていただきたいことがらを説明しています。
補足	本機の操作手順に関する補足情報を説明しています。
P. XXX	参照先を記載しています。
P. XXX	取扱説明書に記載の参照先を記載しています。

商標について

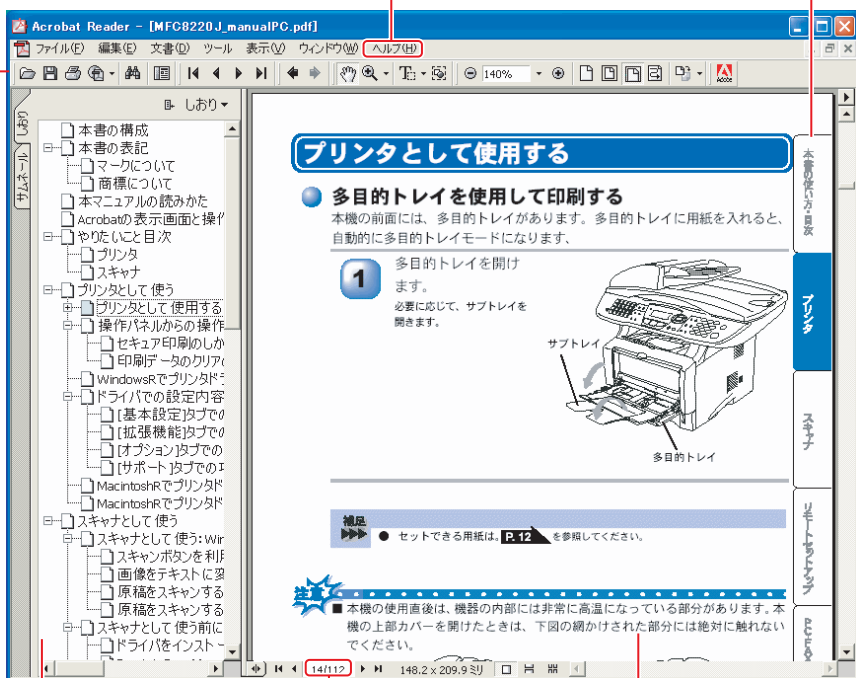
Windows® 98 の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 operating system です。
Windows® 98SE の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system です。
Windows® 2000 Professional の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。（本文中では Windows® 2000 と表記しています。）
Windows® Me の正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system です。
Windows NT® Workstation 4.0 の正式名称は、Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 です。（本文中では Windows NT® 4.0 と表記しています。）
Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional operating system および Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system です。
本文中では、OS 名称を略記しています。
Microsoft、Windows および Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Macintosh、Mac、Mac OS は、アップルコンピュータ社の登録商標です。
Adobe、Photoshop は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。
本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本書の読みかた

本書は次のようなレイアウトで説明しています。

このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

Acrobat Reader の表示画面と操作

本 PDF マニュアルをお読みになるための Acrobat Reader の表示画面と操作を簡潔に説明します。

ナビゲーションウィンドウ
この例のように[しおり]タブで見出しを表示している状態で見出しをクリックすると、該当するページを表示します。

現在のページ/総ページ
見たいページの数値を入力して表示させることができます。

文書内容が表示されます。

このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

やりたいこと目次

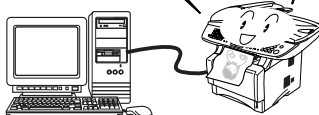
あなたの「○○したい」から該当ページを参照できます。
各機能をご利用になる前に取扱説明書の「第 2 章 ご使用前の準備」P. 35 を必ずお読みください。

プリンタ

プリンタとして使いたい。

P. 16

カスタム設定をしたい。

P. 30

ネットワーク内で本機を共有プリンタとして使いたい。

P. 202

スキャナ

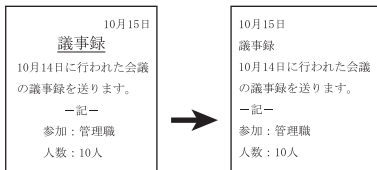
文字や写真をそのままパソコンのデータにしたい。（スキャンイメージ）

P. 51

画像ファイルをテキストファイルに変換したい。（スキャン OCR）

P. 52

10月15日
議事録
10月14日に行われた会議の議事録を送ります。
ー記ー
参加：管理職
人数：10人

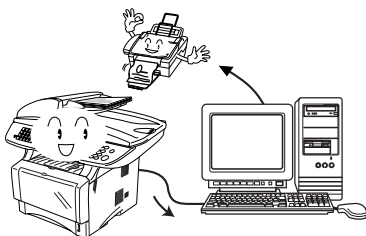
10月15日
議事録
10月14日に行われた会議の議事録を送ります。
ー記ー
参加：管理職
人数：10人

複数の原稿をまとめてスキャンしたい。

P. 49 P. 56 P. 66

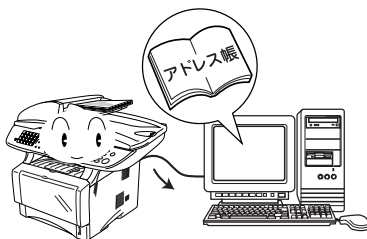
PC-FAX

パソコンからファクスを送る［PC-FAX］

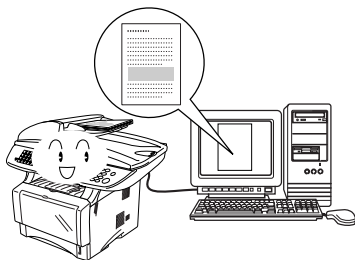
P. 82

パソコンで作成した書類や画像などを、アプリケーションから直接ファクスできます。わざわざ印刷する必要はありません。

アドレス帳を利用する［PC-FAX アドレス帳］

P. 89

PC-FAX を送るときに利用するアドレス帳を作成できます。Outlook Express のアドレス帳データを使用することもできます。(Windows® のみ)

受信したファクスをパソコンで確認する［PC-FAX 受信］

受信したファクスを本機と接続しているパソコンに送ります。パソコン上で内容を確認してから印刷できます。（Windows® のみ）P. 100

目　次

取扱説明書の構成 4
本書の表記 5
本書の読みかた 6
Acrobat Reader の表示画面と操作 7
やりたいこと目次 8
目次 11

第 1 章　プリンタとして使う 15
プリンタとして使用する前に 16
ドライバをインストールする 16
プリンタとしての特長 16
印刷する 18
両面印刷（自動両面印刷）する 18
多目的トレイを使用して印刷する 19
厚紙に印刷する 20
封筒に印刷する 22
操作パネルからの操作 24
セキュリティ印刷のしかた 24
印刷データのクリアのしかた 25
Windows® でプリンタドライバの設定をする 26
ドライバでの設定内容 :Windows® 27
[基本設定] タブでの設定項目 27
[拡張機能] タブでの設定項目 30
[オプション] タブでの設定項目 40
[サポート] タブでの項目 42
Macintosh® でプリンタドライバの設定をする（Mac OS® 8.6~9.2） 43
Macintosh® でプリンタドライバの設定をする（Mac OS® X 10.1/10.2.1 以降） 45

第 2 章　スキャナとして使う 47
スキャナとして使う前に：Windows® 48
ドライバをインストールする必要があります 48
スキャナとして使う：Windows® 49
スキャンボタンを利用する 49

画像をテキストに変換する〔OCR 機能〕 55
原稿をスキャンする（Windows® 98/98SE/Me/2000/XP, Windows NT® 4.0） ... 56
原稿をスキャンする（Windows® XP） 61
スキャナとして使う前に :Macintosh® 65
ドライバをインストールする必要があります 65
スキャナとして使う：Macintosh® 66
Macintosh® でスキャンする 66
スキャナウィンドウの設定項目 67
ネットワークスキャン機能を使う：Macintosh® 69
ネットワークスキャン機能とは 69
ネットワークスキャンを使用する前に 69

第 3 章 リモートセットアップ 71

リモートセットアップについて 72
設定できる項目 73
リモートセットアップ設定内容：Windows® 78
ボタンの説明 78
電話帳登録をする 79
リモートセットアップ設定内容：Macintosh®（Mac OS® X 10.1/10.2.1 以降） 80
ボタンの説明 80

第 4 章 PC-FAX 81

PC-FAX を使用する：Windows®98/98SE/Me/2000/XP, Windows NT®4.0 82
PC-FAX を利用してファクスを送信する 82
個人情報を設定する 82
送信の設定 83
アドレス帳を設定する 85
ファクススタイル画面を使用してファクス送信する 86
シンプルスタイル画面を使用してファクス送信する 87
アドレス帳に相手先を登録する 89
ワンタッチダイヤルに相手先を登録する 90
登録した相手先をワンタッチダイヤルから削除する 91
グループダイヤルに相手先メンバーを登録する 92
アドレス帳の相手先またはグループ情報を修正する 93
アドレス帳の相手先またはグループを削除する 94
アドレス帳をエクスポートする 95
アドレス帳にインポートする 96

送付書を作成する 98
ファクスを直接パソコンに取り込むための設定：Windows® 98/98SE/Me/2000/XP, Windows NT® 4.0 100
[PC-FAX] 受信の起動 100
Brother PC-FAX 受信設定 100
新規 PC-FAX 受信メッセージの表示 101
PC-FAX を使用する：Macintosh® 102
PC-FAX を利用してファクスを送信する 102
MacOS® 8.6 ～ 9.2 環境上のアプリケーションからファクスを送る 102
電話帳に宛先を新規登録する 104
新規グループを登録する 105
MacOS® X 10.1/10.2.1 以降の環境上のアプリケーションからファクスを送る 106
MacOS® X アドレスブックアプリケーションの利用 108
第 5 章　その他の便利な使い方（ControlCenter2.0） 111
ControlCenter2.0 とは：Windows® 112
ControlCenter2.0 の基本操作 112
使用できる機能 113
ControlCenter2.0 を起動する 114
スキャン：Windows® 115
カスタム：Windows® 117
コピー：Windows® 119
PC-FAX：Windows® 121
デバイス設定：Windows® 122
ControlCenter2.0 とは：Macintosh® 123
ControlCenter2.0 の基本操作 123
使用できる機能 124
ControlCenter2.0 を起動する 125
スキャン：Macintosh® 126
カスタム：Macintosh® 128
コピー /PC-FAX：Macintosh® 130
デバイス設定：Macintosh® 132

第 6 章 付　録 133

エラーメッセージが表示されたときは 134

故障かな？と思ったときは 134

使用環境 135

パソコン環境〔Windows®〕 135

パソコン環境〔Macintosh®〕 136

索　引 139

アフターサービスのご案内 141

1 章

プリンタとして使う

■ プリンタとして使用する前に 16
ドライバをインストールする 16
プリンタとしての特長 16
印刷する 18
両面印刷（自動両面印刷）する 18
多目的トレイを使用して印刷する 19
厚紙に印刷する 20
封筒に印刷する 22

■ 操作パネルからの操作 24
セキュリティ印刷のしかた 24
印刷データのクリアのしかた 25

■ Windows® でプリンタドライバの設定をする 26

■ ドライバでの設定内容 :Windows® 27
[基本設定] タブでの設定項目 27
[拡張機能] タブでの設定項目 30
[オプション] タブでの設定項目 40
[サポート] タブでの項目 42

■ Macintosh® でプリンタドライバの設定をする （Mac OS® 8.6~9.2） 43

■ Macintosh® でプリンタドライバの設定をする （Mac OS® X 10.1/10.2.1 以降） 45

プリンタとして使用する前に

ドライバをインストールする

本機をプリンタとして使用するには、付属の CD-ROM の中にあるプリンタドライバをインストールする必要があります。CD-ROM の中には、Windows® 98/98SE/Me/2000/XP, Windows NT®4.0 および Apple 社製 Macintosh® の USB ポート搭載機で、Mac OS® 8.6 以降に対応のプリンタドライバが用意されています。これらのドライバは、Windows®、Mac OS® に簡単にインストールでき、片面印刷／両面印刷の指定や印刷方向、用紙のカスタムサイズの設定等ができます。
ドライバのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」を参照してください。

プリンタとしての特長

本機は、高品質のレーザープリンタとしての特長を備えており、ファクスの送受信中やスキャン中でもパソコンからのデータを印刷することができます。
以下に、プリンタとしての特長を説明します。

● ハイスピード印刷

1 分間に最高 18 枚（片面印刷時の場合。両面印刷時は 8.5 枚）の印刷ができます。（印刷する内容によって異なります。）

● **両面印刷（両面印刷できるのは、A4/US レターのみです。）**

用紙の両面への印刷指定ができますので、省資源、経費節減に有効です。

● **2400 × 600dpi 出力**

普通紙に 2400 × 600dpi の解像度で印刷します。

● **双方向パラレルインターフェース（IEEE1284）に対応**

本機のパラレルポートはパソコンとの双方向通信に対応します。

● **USB(Universal Serial Bus) に対応**

Hi-Speed USB 2.0 に対応します。

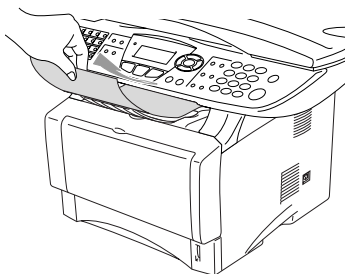
● 多彩な記録紙対応

本機は普通紙、OHP フィルム、はがきおよび封筒に対応します。

● ネットワークプリント

ネットワークプリントに対応します。

補足

- 印刷品質の設定については P. 30 を参照してください。
- パソコンとの接続については「かんたん設置ガイド」を参照してください。
- 用紙についての詳細は P. 38 を参照してください。
- ステータスランプが黄色の点灯になっていたら、キャンセル を押してメモリーに残っているデータをクリアすることができます。
- 印刷された記録紙は前面の排紙トレイに出てきます。

- 本機がパソコンからのデータを印刷中でもコピー操作はできますが、コピーを開始するのはパソコンの印刷終了後です。また、パソコンから印刷中にファクスを受信すると、パソコンの印刷終了後にファクス受信の記録が行われます。ファクス送信は、印刷中でも継続されます。

注意

■ ご使用のソフトウェアの種類やパソコンの環境によっては、本機で印刷できない場合もあります。

■ 用紙を再度挿入する前に、用紙をまっすぐに伸ばさないと紙づまりが発生することがあります。

■ 非常に薄い用紙や非常に厚い用紙の使用はお勧めしません。

■ 多目的トレイをご利用の際に、用紙が一度に 2 枚給紙される場合は、給紙中に前面の用紙以外を押さえてください。

■ Windows® 2000/XP をお使いの方へ

- この取扱説明書ではブラザー製プリンタドライバがインストールされている環境の機能について説明しています。
- Windows®標準ドライバのみをインストールした環境では、プリンタの全機能はサポートされません。

印刷する

1. アプリケーションソフトの [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
2. [印刷] ダイアログボックスの中で本機のプリンタ名を選択し、[プロパティ] をクリックします。
3. 用紙サイズや向きなどの印刷設定を行い、[OK] をクリックします。
4. [印刷] ダイアログボックスにて [OK] をクリックすると、印刷を開始します。
   ステイタスランプが黄色で点滅して印刷を開始します。

両面印刷（自動両面印刷）する

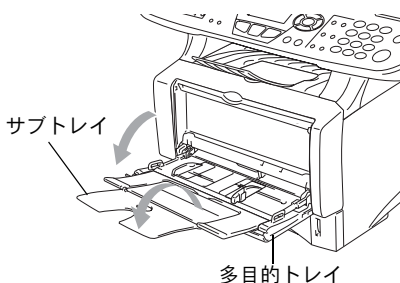
両面印刷できるのは、A4/US レターのみです。

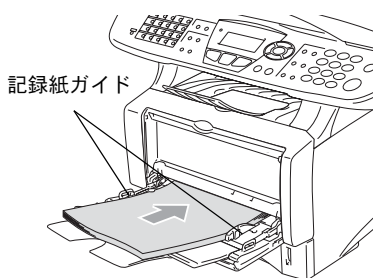
1. アプリケーションソフトの [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
2. [印刷] ダイアログボックスの中で本機のプリンタ名を選択し、[プロパティ] をクリックします。
3. [両面印刷] を選択します。
4. [OK] をクリックします。
5. [印刷] ダイアログボックスにて [OK] をクリックすると、印刷を開始します。
   ステイタスランプが黄色で点滅して印刷を開始します。

多目的トレイを使用して印刷する

本機の前面には、多目的トレイがあります。多目的トレイに用紙を入れると、自動的に多目的トレイモードになります。

多目的トレイを開けます。

必要に応じて、サブトレイを開きます。

2 印刷したい面を上にして記録紙を多目的トレイへセットします。

記録紙ガイドの凸部までの枚数の記録紙をセットしてください。

3 記録紙ガイドリリースボタンを押しながら、記録紙ガイドを記録紙の幅に合わせます。

4 アプリケーションソフトの [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

5 [印刷] ダイアログボックスの中で本機のプリンタ名を選択し、[プロパティ] をクリックします。

6 用紙サイズや向きなどの印刷設定を行い、[OK] をクリックします。

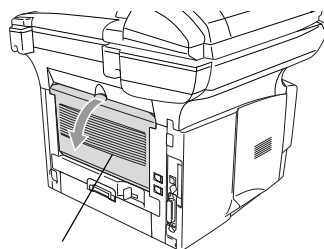
7 [印刷] ダイアログボックスにて [OK] をクリックすると、印刷を開始します。

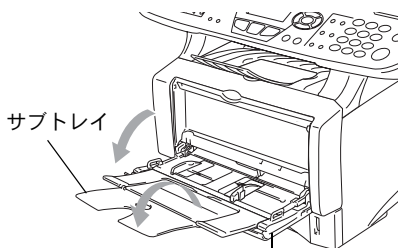
ステイタスランプが黄色で点滅して印刷を開始します。

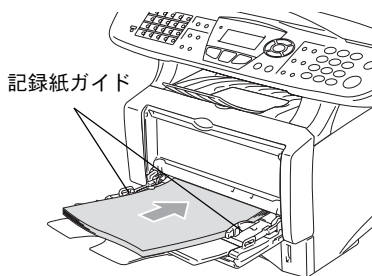
厚紙に印刷する

本機の背面には背面排紙トレイがあり、記録紙を曲げることなく排紙することができます。厚い記録紙に印刷するときは、多目的トレイから記録紙を入れ、背面排紙トレイから排紙してください。

1 背面排紙トレイを開きます。

必要に応じて、フェイスアップ出力サポータを引き出します。

2 多目的トレイを開けます。

必要に応じて、サブトレイを開きます。

3 印刷したい面を上にして記録紙を多目的トレイへセットします。

記録紙ガイドの凸部までの枚数の記録紙をセットしてください。

4 記録紙ガイドリリースボタンを押しながら、記録紙ガイドを記録紙の幅に合わせます。

5 アプリケーションソフトの [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

6 [印刷] ダイアログボックスの中で本機のプリンタ名を選択し、[プロパティ] をクリックします。

7 用紙サイズや向きなどの印刷設定を行い、[OK] をクリックします。

8 [印刷] ダイアログボックスにて [OK] をクリックすると、印刷を開始します。

ステイタスランプが黄色で点滅して印刷を開始します。

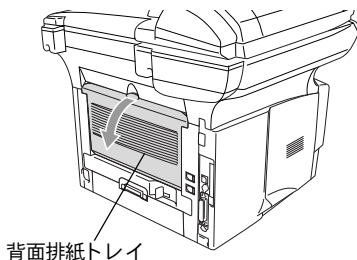
9 印刷後、背面排紙トレイを閉じます。

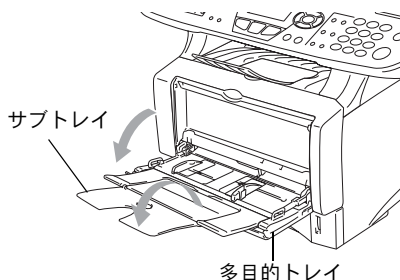
背面排紙トレイ奥の両サイドにある青色のレバーを下げたときは、自動的に元の位置に戻ります。

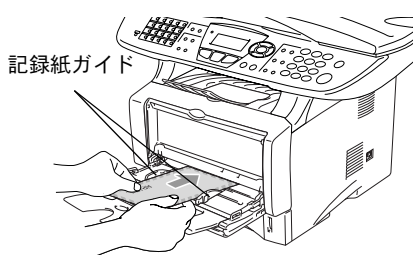
封筒に印刷する

封筒に印刷するときは、多目的トレイと背面排紙トレイを使って以下の手順で操作します。

1 背面排紙トレイを開きます。

必要に応じて、フェイスアップ出力サポータを引き出します。

2 多目的トレイを開けます。

必要に応じて、サブトレイを開きます。

3 印刷したい面を上にして封筒を多目的トレイへセットします。

一度にセットする封筒は 3 枚以下にしてください。

4 記録紙ガイドリリースボタンを押しながら、記録紙ガイドを封筒の幅に合わせます。

5 アプリケーションソフトの [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

6 [印刷] ダイアログボックスの中で本機のプリンタ名を選択し、[プロパティ] をクリックします。

7 用紙サイズや向きなどの印刷設定を行い、[OK] をクリックします。

8 [印刷] ダイアログボックスにて [OK] をクリックすると、印刷を開始します。

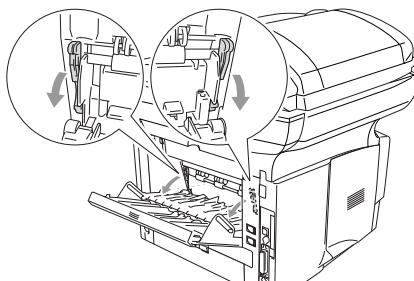
ステイタスランプが黄色で点滅して印刷を開始します。

9 印刷後、背面排紙トレイを閉じます。

背面排紙トレイ奥の両サイドにある青色のレバーを下げたときは、自動的に元の位置に戻ります。

補足

- 【印刷後、封筒にしわが入るとき】

  開いた背面排紙トレイの奥の両サイドにある青色のレバーを右図の矢印の方向に下げます。封筒の印刷後、青色のレバーを元の位置に戻してください。

操作パネルからの操作

操作パネルにはプリンタ用に次のボタンが用意されています。

セキュリティ印刷をします。

Print
セキュリティ キャンセル

本機のメモリーに残るデータおよび印刷中のデータをクリアします。

セキュリティ印刷のしかた

パソコンから本機に機密書類の印刷データが送られてきた場合、受信して即印刷をすると、プリンタの近辺にいる人に見られてしまう可能性があります。
そのような場合は、パソコン側のプリンタドライバでパスワードを設定します。
P. 36
パスワードが設定されていると、本機は印刷データを受信しても、プリンタの操作パネル上でパスワードが入力されるまで印刷を行いません。データはプリンタの電源をオフにしても保持されます。
パスワードを入力して印刷後、データはメモリーからクリアされます。
データ受信後の印刷は、以下の操作で行います。

1

を押します。

メモリーにセキュリティデータがない場合は、「ﾃﾞｰﾀｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ」と表示されます。

2 ▲▼を押してユーザーを選択し、Setを押します。

```
ｾｷｭﾘﾃｨ ﾌﾟﾘﾝﾄ
 ﾅﾏｴ ?
▲  KOIZUMI
▼  SAKAI
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｾｯﾄﾎﾞﾀﾝ
```

3 ▲▼を押して印刷したいデータを選択し、Setを押します。

```
ｾｷｭﾘﾃｨ ﾌﾟﾘﾝﾄ
 ﾌﾞﾝｼｮﾒｲ ?
▲  TEST1
▼  TEST2
▲▼ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ/ｾｯﾄﾎﾞﾀﾝ
```

4桁のパスワードを入力し、Setを押します。

```
ｾｷｭﾘﾃｨ ﾌﾟﾘﾝﾄ
  TEST 1

 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:XXXX
ﾆｭｳﾘｮｸ/ｾｯﾄﾎﾞ ﾀﾝ
```

「プリント」を選択してSetを押します。

印刷を開始します。

6

を押します。

印刷データのクリアのしかた

本機内のメモリーに登録されている印刷用データおよび印刷中のデータをクリアすることができます。

を押します。

- セキュリティ印刷で同時にアクセスできるユーザは、最大10名までです。
- 1ユーザがセキュリティ印刷できるジョブ数は3件までです。
  3件以上のセキュリティ印刷を行う場合は、未処理のジョブを印刷してから行ってください。

Windows® でプリンタドライバの設定をする

プリンタドライバは、本機をプリンタとして使用するときに必要なソフトウェアです。プリンタドライバは、CD-ROM に収録されています。最新のプリンタドライバは、以下のサイトからダウンロードすることもできます。

http://solutions.brother.co.jp

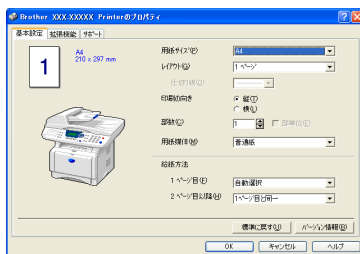
ここでは、プリンタドライバの機能について説明します。表示される画面はご使用の OS により異なります。プリンタドライバの機能の詳細は、プリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。

本機でパソコンから印刷する際にプリンタドライバで各種の設定をすることができます。

1 アプリケーションソフトの [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

2 [印刷] ダイアログボックスの中で本機のプリンタ名を選択し、[プロパティ] をクリックします。

3 各項目を設定します。

- 設定内容の詳細は P. 27 を参照してください。

4 [OK] をクリックします。

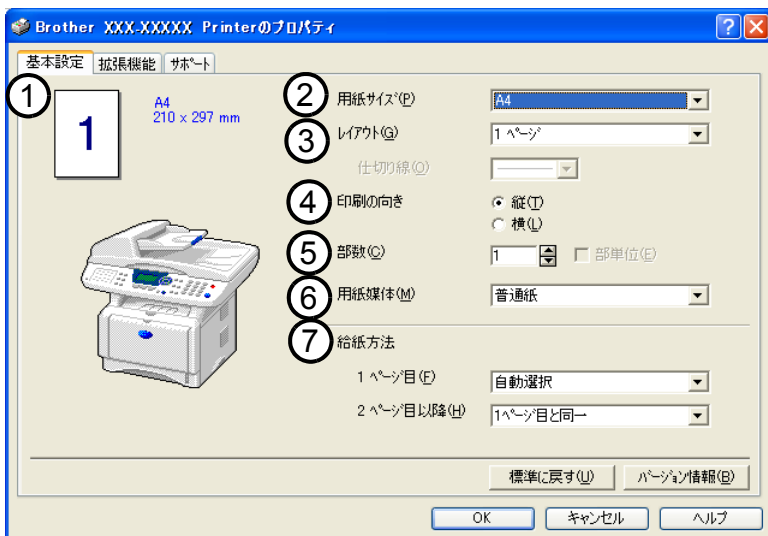
[印刷] ダイアログボックスに戻ります。

補足

- お買い上げ時の設定に戻す場合は、手順 3 で [標準に戻す] をクリックしてから [OK] をクリックします。

ドライバでの設定内容 :Windows®

プリンタドライバで変更できる設定項目について説明します。
プリンタドライバで設定できる項目は、OS が異なっていても基本的に同じです。ただし、お使いの OS によっては利用できない項目があります。
お使いのアプリケーションソフトに類似した機能がある場合は、両方の設定が有効となりますので、同時に使用しないでください。

[基本設定] タブでの設定項目

設定後 [OK] ボタンをクリックして、選択した設定を確定します。
標準設定に戻すときは [標準に戻す] ボタンをクリックします。

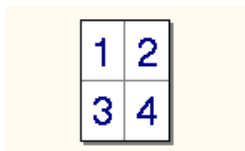
①現在の設定状態

この部分には、用紙サイズ、レイアウト、印刷の向き、拡大縮小、部数、部単位など、現在の設定状態が表示されます。

②用紙サイズ

プルダウンメニューから、使用する [用紙サイズ] を選択します。

③レイアウト

イメージのサイズを縮小して複数のページを 1 枚の用紙に印刷したり、イメージのサイズを拡大して 1 枚のページを複数の用紙に印刷できます。

例：4 枚を 1 ページに縮小印刷

例：1 枚を 4 ページに拡大印刷

仕切り線

[レイアウト] 機能で複数のページを 1 枚の用紙に印刷する場合、各ページを仕切る線を「————」（実線）、「---------」（破線）、「なし」から選択できます。

④印刷の向き

文書を印刷する向き（縦または横）を選択します。

縦選択時	横選択時
1	1

⑤部数

印刷する部数を設定します。

部単位

複数の部数が選択されている場合に、この項目が有効になります。

[部単位] のチェックボックスをチェックすると、文書全体が 1 部印刷されてから、選択した部数だけ印刷が繰り返されます。[部単位] チェックボックスが未チェックの場合は、文書の各ページが設定された部数分だけ印刷されてから、次のページが印刷されます。

部単位チェックボックスがチェック	部単位チェックボックスが未チェック
1 1,2 1,2	1 2,2 1,1

⑥用紙媒体

使用する用紙のタイプを選択します。
用紙の種類にあった用紙媒体を選択することによって、印刷品質が向上します。

- 普通紙
- 普通紙（厚め）
- 厚紙（ハガキ）
- 超厚紙
- ボンド紙
- OHP
- 封筒
- 封筒（厚め）
- 封筒（薄め）

通常の普通紙を使用している場合は、[普通紙] を選択します。より重い用紙を使用している場合は、[普通紙（厚め）] か [厚紙（ハガキ）] を選択します。
ボンド紙には、[ボンド紙] を選択し、OHP フィルムには [OHP] を選択します。
封筒の場合、厚さが通常のときは「封筒」を、厚いときは「封筒（厚め）」、薄いときは「封筒（薄め）」を選択します。

⑦給紙方法

1 ページ目に使用するトレイを選択します。

- 自動選択
- トレイ 1
- トレイ 2
  ＊オプションの「記録紙トレイ＃ 2」（ローワートレイ）が装着されている場合
- MP トレイ
- 手差し

2 ページ目以降で使用するトレイを選択します。

- 1 ページ目と同一
- トレイ 1
- トレイ 2
  ＊オプションの「記録紙トレイ＃ 2」（ローワートレイ）が装着されている場合
- MP トレイ
- 手差し

[拡張機能] タブでの設定項目

タブの設定を変更するには、画面の中のいずれかのアイコンを選択します。

注意

■ Windows のプリンタ共有機能を使って使用する場合、ご使用の OS の種類の組み合わせなどの環境によっては、拡張機能が使用できない場合があります。

● 印刷品質

①解像度

記録紙や原稿、使用目的に合わせて解像度を選択します。

- HQ1200（「両面印刷ユニットを使う」を設定した場合は選択できません。）
- 600dpi
- 300dpi

②トナー節約モード

[オン] を選択することで、印刷密度を下げて、ランニングコストを抑えることができます。

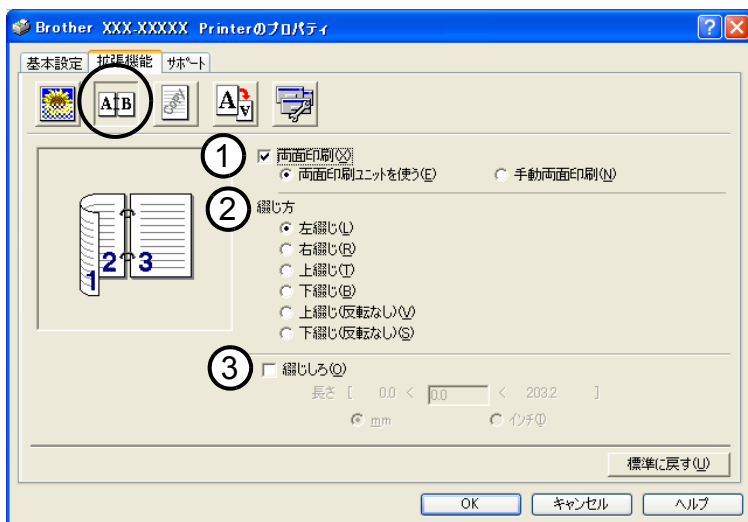
③印刷設定

(Windows® 98/98SE/Me)

[自動設定] を選択すると、プリンタは自動的に最適の印刷設定で印刷します。
[手動設定] を選択すると、[明るさ]、[コントラスト]、[ディザリング] オプションを手動で変更できます。

(Windows® 2000 Professional/XP, Windows NT® 4.0)

[プリンタのハーフトーンを使う］は、プリンタのハーフトーン機能を使って印刷するときに選択します。
[システムのハーフトーンを使う］Windows システムの持つハーフトーン機能を使って印刷するときに選択します。
[階調印刷を改善する] は、階調部分がきれいに印刷できないときに選択します。

● **両面印刷**（両面印刷できるのは、A4/US レターのみです。）

①**両面印刷**

チェックボックスをチェックすると、両面印刷を自動で行うか手動で行うかが選択できます。

- 両面印刷ユニットを使う
  本機内部の両面トレイを使って自動で両面印刷が行えます。
- 手動両面印刷
  このモードの場合、本機はすべての偶数番号のページを最初に印刷します。その後、プリンタドライバが停止し、用紙をもう一度セットするのに必要な指示が表示されます。[OK] ボタンをクリックすると、奇数番号のページが印刷されます。

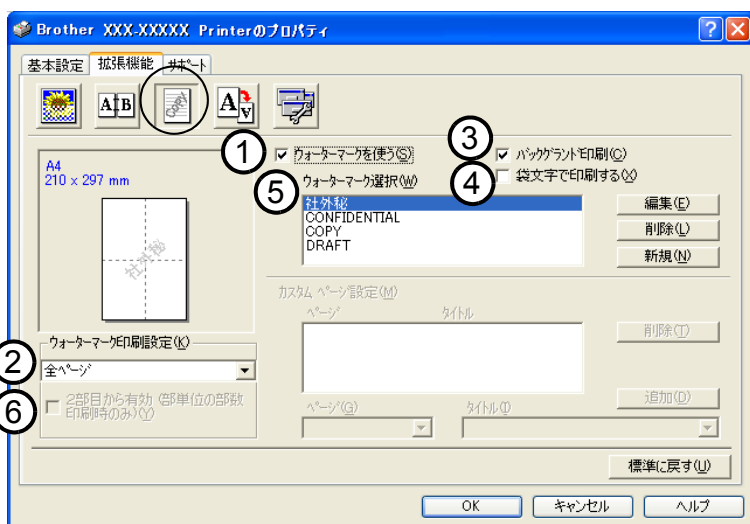
②綴じ方

両面印刷時、綴じる向きを 6 種類の中から選択します。

③綴じしろ

チェックボックスをチェックすると、綴じ側のオフセット値をインチ（0 ～ 8 インチ）か、ミリメートル（0 ～ 203.2mm）で設定できます。

● ウォーターマーク

ロゴや本文をウォーターマーク（透かし絵）として文書に入れることができます。あらかじめ設定されたウォーターマークの一つを選択するか、作成済みのビットマップファイルまたはテキストファイルを使うことができます。
[ウォーターマークを使う] をチェックして、使いたいウォーターマークを選択してください。

①ウォーターマークを使う

チェックボックスをチェックすると、ウォーターマークの選択ができます。

②ウォーターマーク印刷設定
以下に示す選択項目があります。
- 全ページ
- 開始ページのみ
- 2ページ目から
- カスタム

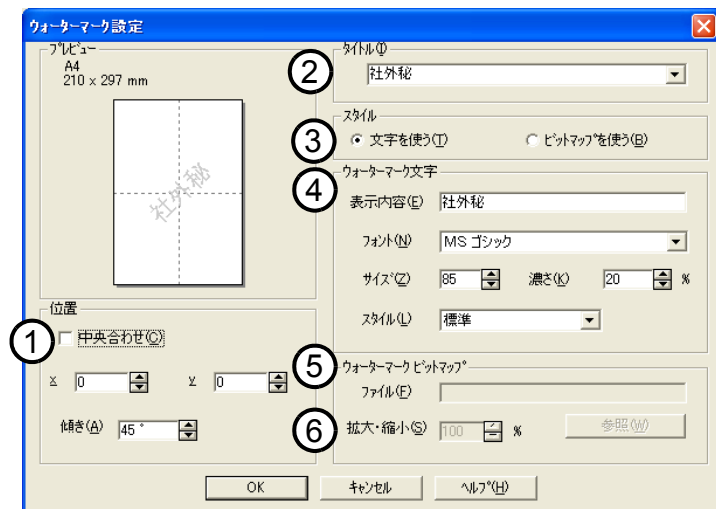
③バックグランド印刷
チェックボックスをチェックすると、ページ上の文書の背景に透かし絵が印刷されます。オフの場合、透かし絵は文書の上部に印刷されます。

④袋文字（Windows® 2000 Professional/XP, Windows NT® 4.0）
チェックボックスをチェックすると、ウォーターマークが袋文字で印刷されます。

⑤ウォーターマーク選択
透かし絵を選択して[編集]ボタンをクリックすると、[ウォーターマーク設定]ダイアログボックスが表示され、透かし絵のサイズや位置などを変更できます。

⑥ 2部目から有効 (Windows® 2000 Professional/XP, Windows NT® 4.0)
部単位印刷の場合、2部目以降ウォーターマークを印刷します。

● ウォーターマーク設定

ウォーターマークを選択し、[編集] ボタンを押すと、ウォーターマークのサイズとページ上の位置を変更することができます。新しいウォーターマークを追加したい場合は、[新規]ボタンをクリックし、[スタイル]の[文字を使う]または[ビットマップを使う]を選択します。

①位置

ページ上の透かし絵を配置する位置を設定します。

②タイトル

設定した透かし絵のタイトルを設定します。ここで設定したタイトルは、[ウォーターマーク選択] に表示されます。

③スタイル

新しく追加する透かし絵が、文字かビットマップかを選択します。

④ウォーターマーク文字

透かし絵の文字を [表示内容] ボックスに入力して、フォント、サイズ、スタイル、カラーを選択します。

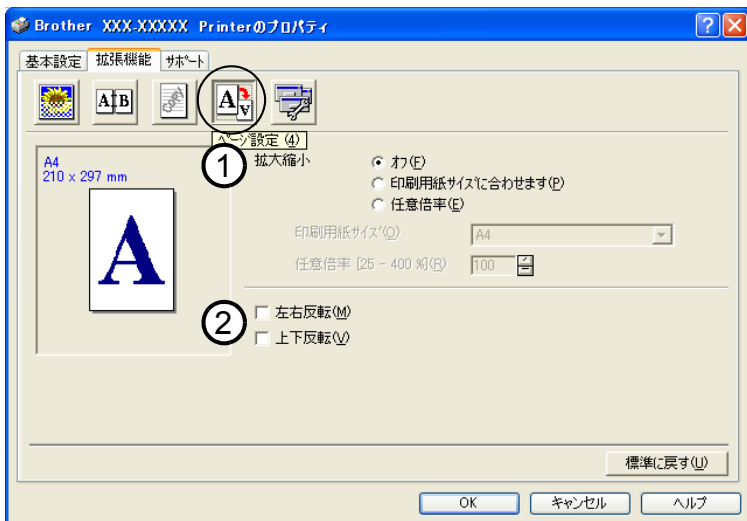
⑤ウォーターマークビットマップ

[ファイル] ボックスにビットマップイメージのファイル名を入力するか、[参照] ボタンをクリックして、ビットマップファイルを指定します。

⑥拡大・縮小

イメージのサイズを設定します。

● ページ設定

拡大縮小機能を使用して文書の印刷サイズを変更できます。

①拡大・縮小

文書を画面に表示されたとおりに印刷する場合は、[オフ] をチェックします。
文書のサイズが特別な場合や、標準サイズの用紙しかない場合は、[印刷用紙サイズに合わせます] をチェックして、用紙サイズを選択します。
印刷出力を拡大や縮小する場合は、[任意倍率] をチェックして、倍率を指定します。

②左右反転 / 上下反転

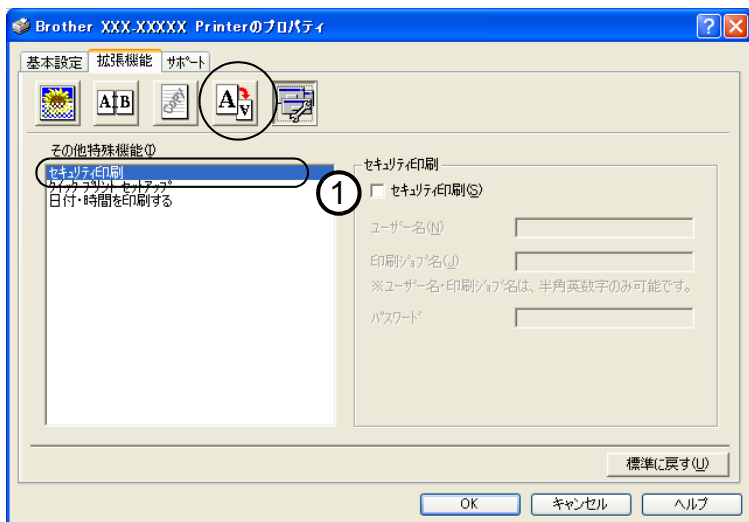
[左右反転] 機能や [上下反転] 機能をページの設定に使用することもできます。

● その他特殊機能

[その他の特殊機能] で各機能を設定できます。

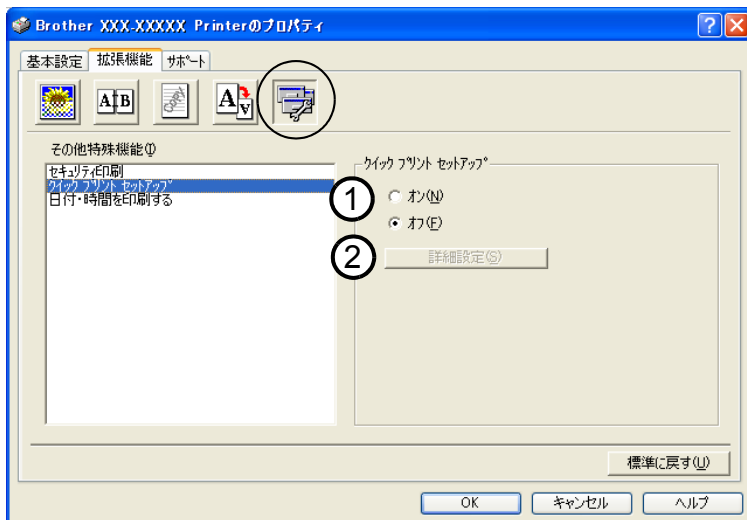
セキュリティ印刷

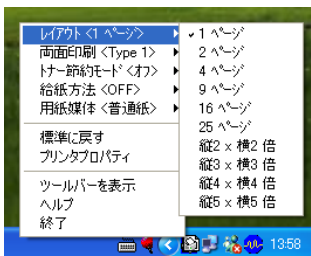
パソコンから機密書類の印刷データを送って即印刷されると、プリンタの近辺にいる人に見られてしまう可能性があります。そのような場合に備えて、パスワードを設定します。

パスワードが設定されていると、本機は印刷データを受信しても、プリンタの操作パネル上でパスワードが入力されるまで印刷を行いません。P. 24

① [セキュリティ印刷] のチェックボックスをチェックして、ユーザー名とパスワードを入力します。

本機に転送した印刷データを削除する場合も、ここで設定したパスワードで削除します。

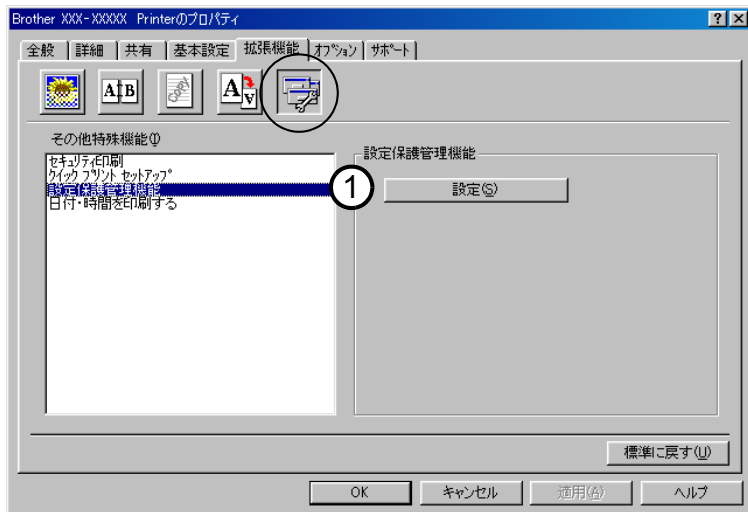
クイックプリントセットアップ

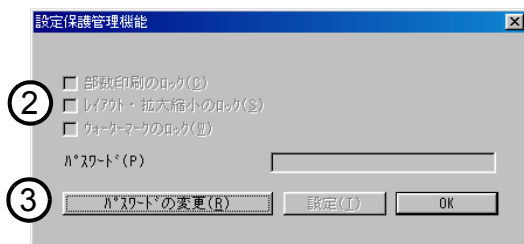
ドライバの設定を素早く選択できます。

①クイックプリントセットアップ　オン / オフ

クイックプリントセットアップを [オン] にすると、ドライバ設定をすばやく選択することができます。タスクトレイのアイコン上でマウスボタンをクリックするだけで、設定を確認できます。

②詳細設定ボタン

設定を表示するには、[詳細設定] ボタンをクリックします。[詳細設定] ダイアログボックスが表示されます。

設定保護管理機能（Windows® 98/98SE/Me のみ）

パスワードで設定を保護できます。

①設定ボタン

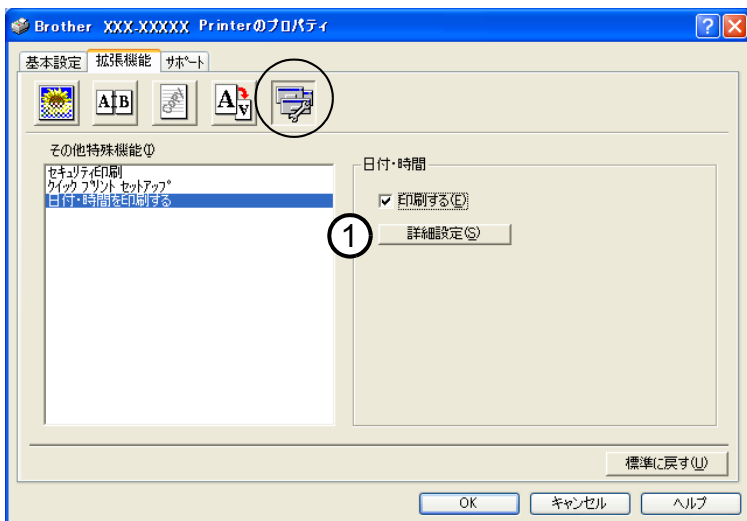
パスワードを設定するには、[設定] ボタンをクリックします。[設定保護管理機能] ダイアログボックスが表示されます。

②部数印刷のロック / レイアウト・拡大縮小のロック / ウォーターマークのロック

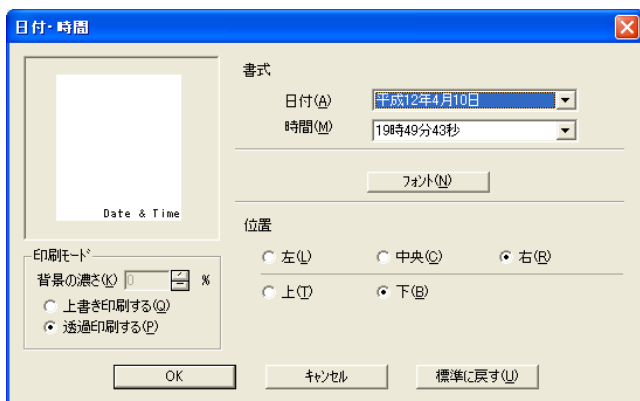
チェックボックスをチェックすると、[部数印刷のロック]、[レイアウト・拡大縮小のロック]、[ウォーターマークのロック] 機能をロックしてパスワードで保護することができます。（パスワード設定時のみ）

③パスワードの変更ボタン

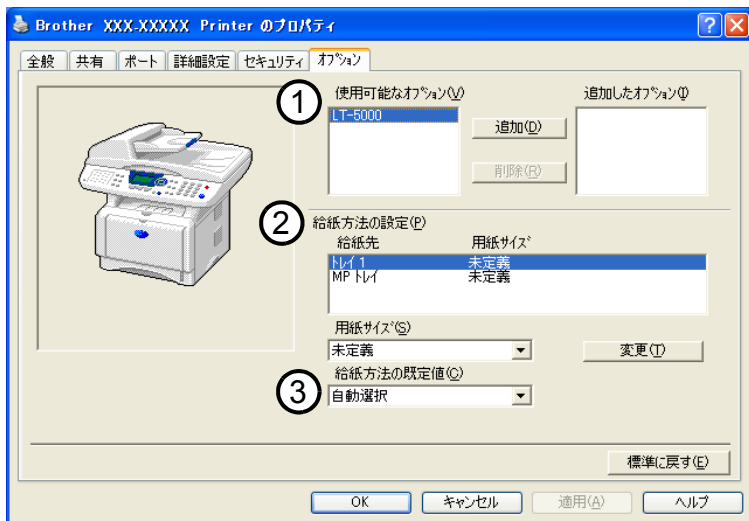
パスワードを記録して、後で参照できるように安全な場所に保管します。パスワードを忘れてしまうと、これらの設定にアクセスできなくなります。

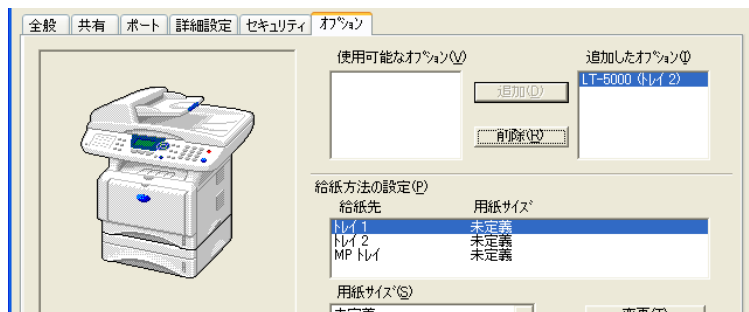
日付・時刻を印刷する

［印刷する］チェックボックスをチェックすると、設定した日付と時刻が文章に印刷されます。

①詳細設定ボタン

日付と時間の設定をするには、[詳細設定] ボタンをクリックします。[日付・時間] ダイアログボックスが表示されます。

日付と時間の印刷モード、書式、フォント、位置を設定します。
背景を日付と時間に含めるときは、[上書き印刷する] を選択します。
[上書き印刷する] が選択されると、パーセンテージを変更して日付と時間の [背景の濃さ] を設定できます。

[オプション] タブでの設定項目

オプションタブでは、プリンタに装着されたオプションやそれぞれの給紙先に入れられた用紙サイズの情報を設定します。これらの設定情報は、プリンタドライバの機能に反映されます。

①使用可能なオプション

オプションの「記録紙トレイ＃２」(LT- 5000) を装着し、使用可能にするには、ドライバにそのオプションをインストールする必要があります。使用可能なオプションの中からモデル番号を選択し、[追加] をクリックします。オプショントレイが [追加したオプション] と [給紙方法の設定] に表示され、同時に、画面には [記録紙トレイ＃２] が設置された本機のイラストが表示されます。

②給紙方法の設定

それぞれの給紙先で使用する用紙サイズを設定します。ここで用紙サイズを設定しておくと、印刷する文書の用紙サイズによって、給紙先を自動的に切り替えます。ただし、この設定を有効にするには基本設定タブの [給紙方法] の設定を [自動選択] にしておく必要があります。

1 [給紙方法の設定] リストから、設定するトレイを選択します。

2 [用紙サイズ] プルダウンリストから、使用する用紙のサイズを選択します。

3 [変更] ボタンをクリックします。

使用する用紙トレイや用紙サイズをお買い上げ時の設定に戻すときは、[標準に戻す] ボタンをクリックし、[OK] ボタンをクリックしてください。

③給紙方法の既定値

印刷したい文書の用紙サイズが、②給紙方法の設定での用紙サイズ設定に合わない場合に使用される給紙先が選択できます。

[サポート] タブでの項目

ドライババージョンと設定情報が示されています。また、[Brother Solutions Center] のリンクもあります。

サポートタブをクリックすると、次の画面が表示されます。

① Brother Solutions Center

FAQ（よくある質問）、ユーザー向けガイド、ドライバー更新、機器の使用上のヒントなど、ブラザー製品に関する情報を提供しているウェブサイトです。

②設定の確認

クリックすると、現在の基本的なドライバ設定の一覧が表示されます。

Macintosh® でプリンタドライバの設定をする（Mac OS® 8.6~9.2）

アップルメニューより [セレクタ] を選択します。

2

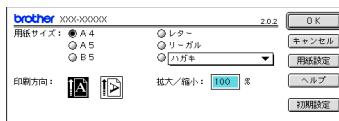
Brother Laser アイコンをクリックします（アイコンの色が強調表示されます）。
セレクタの右の欄にあるプリンタ名 [MFC-8820J] をクリックしてからセレクタを閉じます。

3

アプリケーションソフトの [ファイル] メニューから [用紙設定] を選択します。

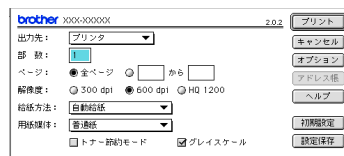
以下の項目が設定できます。

- 用紙サイズ
- 印刷方向
- 拡大 / 縮小

設定が終わったら、[OK] をクリックします。

アプリケーションソフトの [ファイル] メニューから [プリント] を選択します。

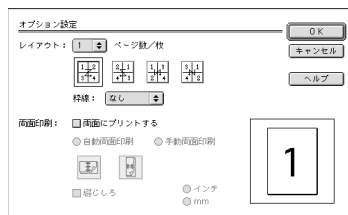
以下の項目が設定できます。

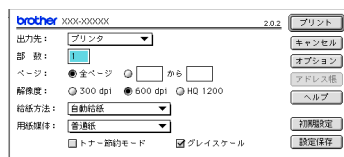
- 部数　・用紙媒体
- ページ　・トナー節約モード
- 解像度　・グレースケール
- 給紙方法
- [オプション] をクリックすると、レイアウト指定と両面印刷指定ができます。

☞ 次ページへ続く

[オプション]をクリックします。

以下の項目が設定できます。

- レイアウト（1枚への印刷ページ、印刷順、枠線の有無）
- 両面印刷（自動／手動、印刷の向き）

設定が終わったら、[OK] をクリックします。

[プリント]をクリックします。

印刷が開始されます。

Macintosh® でプリンタドライバの設定をする（Mac OS® X 10.1/10.2.1 以降）

1 アプリケーションソフトの [ファイル] メニューから [ページ設定] を選択します。[フォーマット] が [MFC-8820J] になっていることを確認します。

以下の項目が設定できます。

- 用紙サイズ
- 方向　　• 拡大 / 縮小

設定が終わったら、[OK] をクリックします。

2 アプリケーションソフトの [ファイル] メニューから [プリント] を選択します。[プリンタ] が [MFC-8820J] になっていることを確認します。

以下の項目が設定できます。

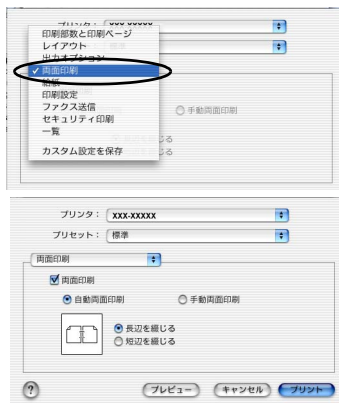
- 部数
- ページ
- 丁合い

☞次ページへ続く

両面印刷をする場合は、[両面印刷] を選択します。

（両面印刷できるのは、A4/US レターのみです。）

以下の項目が設定できます。

- 自動両面印刷
- 手動両面印刷（Mac OS® X 10.1 のみ）
- 印刷の向き（長辺を綴じる、短辺を綴じる）

[プリント] をクリックします。

印刷が開始されます。

スキャナとして使う

■ スキャナとして使う前に：Windows® 48
ドライバをインストールする必要があります 48

■ スキャナとして使う：Windows® 49
スキャンボタンを利用する 49
画像をテキストに変換する〔OCR 機能〕........ 55
原稿をスキャンする（Windows® 98/98SE/Me/2000/XP, Windows NT® 4.0）.... 56
原稿をスキャンする（Windows® XP）........ 61

■ スキャナとして使う前に :Macintosh® 65
ドライバをインストールする必要があります 65

■ スキャナとして使う：Macintosh® 66
Macintosh® でスキャンする 66
スキャナウィンドウの設定項目 67

■ ネットワークスキャン機能を使う：Macintosh® 69
ネットワークスキャン機能とは 69
ネットワークスキャンを使用する前に 69

スキャナとして使う前に：Windows®

ドライバをインストールする必要があります

本機をスキャナとして使用する場合は、付属の CD-ROM に収録されているドライバをインストールする必要があります。以下のソフトウェアを使用すると、スキャンした文書や画像を管理したり、加工することができます。

- Presto!® PageManager®
- Brother 日本語 OCR

補足

- 付属の CD-ROM に収録されている「Presto!® PageManager®」は、Windows NT ® には対応していません。
- ドライバやソフトウェアのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」をお読みください。
- Brother 日本語 OCR は、スキャンした画像ファイルをテキストファイルに変換できます。漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベット、アラビア数字および図表の入った原稿を認識できます。変換したファイルは TXT 形式、RTF 形式、CSV 形式で保存できるので、Microsoft® Word や Microsoft® Excel で編集できます。
- 「Presto!® PageManager®」に関する詳細は、ソフトウェアに付属の電子マニュアルを参照してください。なお、テクニカルサポートに関する情報は以下のとおりです。

  ニューソフトジャパン株式会社　東京都港区新橋 6-21-3
  ニューソフトカスタマーサポートセンター
  Tel：03-5472-7008 、Fax：03-5472-7009
  受付時間：10：00 ～ 12：00 、13：00 ～ 17：00
  （土曜、日曜、祝祭日を除く）
  電子メール：support@newsoft.co.jp
  ホームページ：http://www.newsoft.co.jp/
- TWAIN とは、スキャナなどの画像入力デバイス用の関数（API）や手続きの集合体です。多くのスキャナやグラフィックソフトウェアが TWAIN に対応しています。「WIA（Windows Image Acquisition）」は Windows でデジタルカメラやスキャナなどから USB などを通して画像を取り込むためのものです。WIA は Windows® Me から採用された新しい機能なので、古い機種やソフトウェアなどは対応していないことがあります。

スキャナとして使う：Windows®

スキャンボタンを利用する

インストールしたソフトの中で、以下の機能は操作パネル上のを押してスキャンモードにして使用します。

- スキャン E メール
- スキャンイメージ
- スキャン OCR
- スキャンファイル

を使用するには、あらかじめ本機を USB ケーブルまたはパラレルケーブルでパソコンに接続しておく必要があります。

補足

- ソフトが自動的に起動しないとき
  Windows® 2000/XP は、「スキャナとカメラのウィザード」→「MFC のプロパティ」→「イベント」でボタンの設定をします。
- スキャンボタンを押した後、 パソコンのソフトが起動していても、スキャンは開始されない場合は、Presto!® PageManager® にて「ファイル」→「スキャンボタンの設定」→「TWAIN ユーザーインターフェイスを無効にする」にチェックすると、スキャンされるようになります。

スキャン E メール

スキャンした白黒またはカラー原稿を、添付ファイルとして E メールに取り込むことができます。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

を押します。

3 を押して「スキャン Eメール」を選択します。

```
▲スキャン Eメール
 スキャン イメージ
 スキャン OCR
▼スキャン ファイル
▲▼デ センタク/セットボ タン
```

4 Set を押します。

ネットワーク接続の場合は続いて次の手順 5 ～ 8 を行います。

5 を押して「PC」を選択します。

6 Set を押します。

7 を押してスキャンしたデータを送信するコンピュータ名を選択します。

8 Set を押します。

補足

- スキャンされた原稿が添付ファイルとして保存されます。ControlCenter2.0 で設定されているメールソフトが起動し、メッセージが表示されるので宛先のメールアドレスを入力します。
- Scan を使ってスキャンするときの設定は、ControlCenter2.0 から変更できます。詳しくは、P. 115 を参照してください。
- ファイルはビットマップ (*.BMP)、JPEG(*.JPG)、TIFF(*.TIFF)、PNG(*.PNG)、PDF（*.PDF）のいずれかの形式で保存できます。

スキャンイメージ

カラー写真のスキャン画像を、グラフィックアプリケーションに取り込んで表示したり修正することができます。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

2 Scan を押します。

3 ▲▼を押して「スキャン イメージ」を選択します。

```
▲スキャン Eメール
 スキャン イメージ
 スキャン OCR
▼スキャン ファイル
▲▼デ センタク/セットボ タン
```

4 Set を押します。

ネットワーク接続の場合は続いて次の手順 5 ～ 6 を行います。

5 ▲▼を押してスキャンしたデータを送信するコンピュータ名を選択します。

6 Set を押します。

● ControlCenter2.0 で設定されているアプリケーションが起動し、画像データが表示されます。P. 115

スキャン OCR

原稿が文字テキストであれば、Brother OCR を使って自動的に編集可能なテキストファイルに変換することができます。

1. ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

2. Scan を押します。

3. ▲▼を押して「ｽｷｬﾝ OCR」を選択します。

▲ｽｷｬﾝ Eﾒｰﾙ
ｽｷｬﾝ ｲﾒｰｼﾞ
ｽｷｬﾝ OCR
▼ｽｷｬﾝ ﾌｧｲﾙ
▲▼デ ｾﾝﾀｸ/ｾｯﾄﾎﾞﾀﾝ

4. Set を押します。

ネットワーク接続の場合は続いて次の手順 5 ～ 6 を行います。

5. ▲▼を押してスキャンしたデータを送信するコンピュータ名を選択します。

6. Set を押します。

補足

- Brother OCR が起動され、画像データに OCR（光学的手法による文字認識）の処理を実行します。
  認識処理後、Brother OCR 画面でテキストデータに変換された文書を編集・修正することができます。

スキャンファイル

白黒またはカラー原稿をスキャンしてパソコンの指定先フォルダに保存することができます。保存の際のファイル形式および保存先フォルダの設定は、ControlCenter2.0で行います。詳しくは、P. 115 を参照してください。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

2 Scan を押します。

3 ▲▼を押して「スキャン　ファイル」を選択します。

▲スキャン　E メール
　スキャン　イメージ
　スキャン　OCR
▼スキャン　ファイル
▲▼デ　センタク/セットボ　タン

4 Set を押します。

ネットワーク接続の場合は続いて次の手順5～6を行います。

5 ▲▼を押してスキャンしたデータを送信するコンピュータ名を選択します。

6 Set を押します。

- 保存されるファイル形式や保存先フォルダ、ファイル名の初期設定は以下のとおりです。
  - 保存先フォルダ
    マイドキュメント¥マイピクチャ ¥Control Center 2¥Scan
    マイピクチャフォルダがない場合は、「マイドキュメント ¥Control Center 2¥Scan」となります。
  - ファイル形式
    JPG
  - ファイル名
    CCFyyyymmdd_XXXXX
    yyyy：西暦
    mm：月
    dd：日
    XXXXX：通し番号
- ファイルはビットマップ (*.BMP)、JPEG(*.JPG)、TIFF(*.TIFF)、PNG(*.PNG)、PDF（*.PDF）のいずれかの形式で保存できます。

画像をテキストに変換する〔OCR 機能〕

取り込んだ画像ファイルをテキストファイルに変換できます。

1. [スタート] メニューの [すべてのプログラム] - [Brother OCR Ver.XXX] の順に選択します。

2. [日本語 OCR] のアイコンをクリックします。

3. ボタンをクリックしてスキャナから画像を読み込みます。

   スキャナドライバが起動されます。

4. ボタンをクリックします。

   文字認識が行われます。

補足

- スキャナから読み込む場合は、TWAIN 対応のスキャナが接続されており、スキャナのドライバがインストールされている必要があります。また、最初に［ファイル］メニューの［スキャナの選択］で、インストールしたスキャナのドライバを選択しておいてください。
- スキャン済みの画像データがパソコン内にある場合は、手順 3 で ボタンをクリックして画像ファイルを読み込みます。
- 読み取り率は、きれいな原稿のほうが向上します。
- 認識されたテキストファイルのデータ量は、認識処理前の画像ファイルに比べて小さくなります。

原稿をスキャンする（Windows® 98/98SE/Me/2000/XP, Windows NT® 4.0）

本機のドライバは TWAIN 対応です。ドライバにより、TWAIN 対応の他のアプリケーション（「Presto!® PageManager®」や「Adobe® Photoshop®」など）で、画像を直接スキャンできます。ここでは、「Presto!® PageManager®」でスキャンする場合について説明します。TWAIN 対応の他のアプリケーションから直接原稿をスキャンするときも、手順は同様です。

補足

- 「Presto!® PageManager®」の操作の詳細については、「Presto!® PageManager® ユーザーズマニュアル」をお読みください。ユーザーズマニュアルは、［スタート］メニューから［プログラム］－［Presto!® PageManager® 6］－［Presto!® PageManager® 6.0 ユーザーズマニュアル］を選ぶと表示されます。
- 付属の CD-ROM に収録されている「Presto!® PageManager®」は、Windows NT ® には対応していません。
- Windows® XP で TWAIN を使用するときは、「TWAIN ドライバ設定ツール」を使います。「TWAIN ドライバ設定ツール」は、以下の手順で起動します。
  ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Brother］－［(モデル名)］－［TWAIN ドライバ設定ツール」を選択します。

あらかじめ、「Presto!® PageManager®」を起動させ、[ファイル] メニューの [TWAIN 対応機器の選択...] で、接続している機器の機種名を選択しておきます。

1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合、複数の原稿をセットすることでまとめてスキャンすることができます。

Presto!® PageManager® 画面から をクリックします。

TWAIN ダイアログボックスが表示されます。P. 57

必要に応じて TWAIN ダイアログボックスで以下の項目を設定します。

- 解像度
- 色数
- 明るさ　など

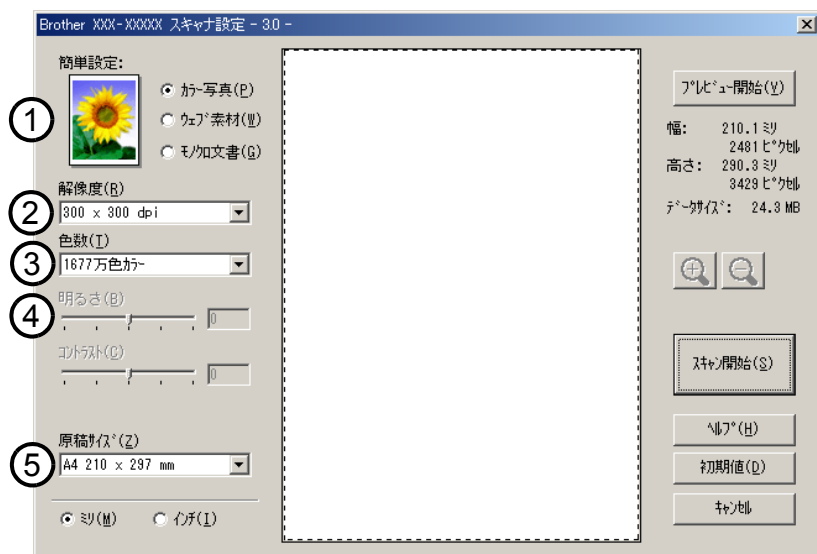
[スキャン開始] ボタンをクリックします。

スキャンが終了したら [キャンセル] ボタンをクリックして Presto!® PageManager® 画面に戻ります。

補足

- ドライバのインストール方法については「かんたん設置ガイド」を参照してください。
- 操作の詳細については、Presto!® PageManager® の電子マニュアル（PDF 形式）をご覧ください。

● TWAIN ダイアログボックスでの設定（Windows® 98/98SE/Me/2000/XP, Windows NT® 4.0）

TWAIN ダイアログボックスで設定できる項目について、以下に説明します。

①イメージタイプ

カラー写真：写真の場合に選択します。

ウェブ素材：ホームページに使用する場合に選択します。

モノクロ原稿：文書の場合に選択します。

②解像度

解像度のプルダウンメニューからスキャンする解像度を選択します。解像度を高くすると必要なメモリーや読取時間が増えますが、スキャンされた画像の質は向上します。

選択できる解像度と指定可能な色数の対応は以下のとおりです。

解像度	白黒 / グレー / 256 階調グレー	256 色カラー	1,677 万色カラー／1,677 万色カラー（高速）
100 × 100dpi	○	○	○
150 × 150dpi	○	○	○
200 × 200dpi	○	○	○
300 × 300dpi	○	○	○
400 × 400dpi	○	○	○
600 × 600dpi	○	○	○

解像度	白黒 / グレー / 256 階調グレー	256 色カラー	1,677 万色カラー／1,677 万色カラー（高速）
1200 × 1200dpi	○	×	○
2400 × 2400dpi	○	×	○
4800 × 4800dpi	○	×	○
9600 × 9600dpi	○	×	○

③色数

白黒

テキストや線画の場合に設定します。

グレースケール

写真画像の場合にグレー、または 256 階調グレーに設定します。

カラー

256 色カラー、1,677 万色カラー、1,677 万色カラー（高速）のいずれかを選択します。

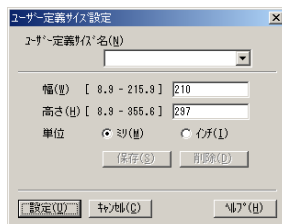
④明るさ／コントラスト

必要に応じてマウスでつまみを左右にドラッグして、明るさやコントラストを調節してください。

⑤原稿サイズ

以下のいずれかのサイズを設定します。

- レター　215.9 × 279.4mm（8 1/2 × 11 in）
- A4　210 × 297mm
- リーガル　215.9 × 355.6mm（8 1/2 × 14 in）
- A5　148 × 210mm
- B5（JIS）　182 × 257mm
- エクゼクティブ　184.15 × 266.7mm（7 1/4 × 10 1/2 in）
- 名刺　90 × 60mm
- L 判　9 × 13cm（3.5 × 5 in）
- 2L 判　13 × 18cm（5 × 7 in）
- ハガキ　10 × 15cm（4 × 6 in）
- ユーザー定義サイズ

[ユーザー定義サイズ]を選択した場合は、右の画面が表示されます。[幅]と[高さ]を入力します。

補足

- 1,677 万色カラーは最適な色で画像を作成できますが、作成した画像ファイルのデータ容量は、256 色カラーを使用した場合の 3 倍ほどになります。
- 1,677 万色カラー（高速）ではブラザーカラーマッチング技術を利用しないため 1,677 万色カラーよりも高速にスキャンすることができます。
- ユーザー定義サイズを選択した後でも、スキャンの範囲をさらに調整できます。左マウスボタンを使って、スキャン範囲の点線をドラッグします。この作業はスキャンするときに画像を切り取るために必要です。
- 名刺をスキャンするには、名刺サイズ（90 × 60mm）の設定を選択し、原稿台ガラスにセットしてください。
- ワープロアプリケーション、グラフィックアプリケーション上で使用される写真や、その他の画像をスキャンする場合は、濃度・モード・画質の設定を調整して、どの設定が最適か判断してください。
- 必要以上に解像度を高く設定すると、データ容量も取り込み時間も増大します。適切な解像度を選択してください。
- ユーザー定義サイズは、8.9×8.9mmから215.9×355.6mmまで調整できます。

プレビューで画像を調整する（Windows® 98/98SE/Me/2000/XP）

プレビューは、低い画質ですばやく画像をスキャンし、確認できる機能です。画像のサムネイルがスキャンエリアに表示され、どのようにスキャンされるのか確認できます。

ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。

[プレビュー開始]ボタンをクリックします。

全原稿がパソコンにスキャンされると TWAIN ダイアログボックスのスキャンエリアに表示されます。

3 スキャンされた原稿の一部分を切り取るには、左マウスボタンを使ってスキャンエリアの点線の側面か端をドラッグします。点線を調整して スキャンしたい部分を囲みます。

4 必要に応じて TWAIN ダイアログボックスの解像度、色数、明るさの設定を調整します。

5 [スキャン開始] ボタンをクリックします。
選択された範囲だけが Presto!® PageManager® 画面に表示されます。

6 Presto!® PageManager® 画面上で画像を調整します。

補足

- 操作の詳細については、Presto!® PageManager® の電子マニュアル（PDF 形式）を参照してください。
- [プレビュー開始] ボタンを使用して画像をプレビューし、画像の不要部分を切り取ります。プレビューのとおりでよければ、スキャナ画面から [スキャン開始] ボタンをクリックして画像をスキャンします。

注意

■ ADF（自動原稿送り装置）でプレビューを見た場合は、[プレビュー開始] ボタンをクリックした時点で原稿を排出してしまうため、再度、セットしてから [スキャン開始] ボタンをクリックする必要があります。

原稿をスキャンする（Windows® XP）

本機のドライバは WIA 対応です。ドライバにより、TWAIN または WIA 対応の他のアプリケーション（「Presto!® PageManager®」や「Adobe® Photoshop®」など）で、画像を直接スキャンできます。
原稿台ガラスに原稿をセットしてスキャンするときは、以下の手順で操作します。ここでは、「Presto!® PageManager®」でスキャンする場合について説明します。

補足
- 「Presto!® PageManager®」の操作の詳細については、「Presto!® PageManager® ユーザーズマニュアル」をお読みください。ユーザーズマニュアルは、［スタート］メニューから［プログラム］－［Presto!® PageManager® 6］－［Presto!® PageManager® 6.0 ユーザーズマニュアル］を選ぶと表示されます。

あらかじめ、「Presto!® PageManager®」を起動させ、[ファイル] メニューの[TWAIN対応機器の選択...]で、接続している機器の機種名を選択しておきます。

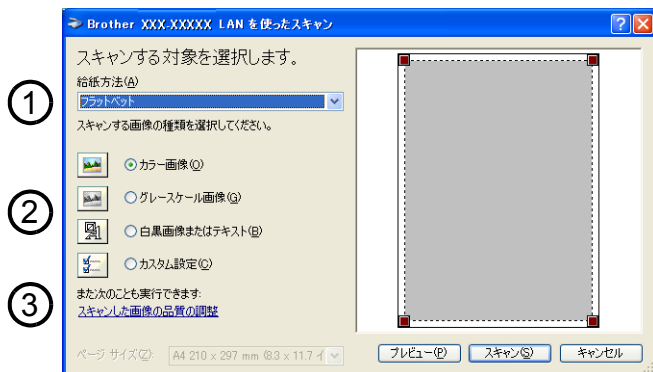
1 ADF（自動原稿送り装置）または原稿台ガラスに原稿をセットします。
ADF（自動原稿送り装置）を使用する場合、複数の原稿をセットすることでまとめてスキャンすることができます。

2 Presto!® PageManager® 画面から をクリックします。
WIA ダイアログボックスが表示されます。P. 62

3 必要に応じて WIA ダイアログボックスで以下の項目を設定します。
- 解像度
- 明るさ
- 画像の種類　など

4 [スキャン] ボタンをクリックします。
スキャンが終了したら [キャンセル] ボタンをクリックして Presto!® PageManager® 画面に戻ります。

補足
- ドライバのインストール方法については「かんたん設置ガイド」を参照してください。
- 操作の詳細については、Presto!® PageManager® の電子マニュアル（PDF 形式）をご覧ください。

● WIA ダイアログボックスでの設定（Windows® XP）

①給紙方法

[フラットベッド] は原稿台ガラスからスキャンするとき、[ドキュメントフィーダ] は ADF（自動原稿送り装置）からスキャンするときに選択します。

②スキャンする画像の種類を選択します。

③スキャンした画像の品質の調整

ここをクリックすると、[詳細プロパティ] ウィンドウが表示されます。

④明るさ / コントラスト

必要に応じてマウスでつまみを左右にドラッグして、明るさやコントラストを調節してください。

⑤解像度

プルダウンメニューから解像度を選択します。解像度を高くすると必要なメモリーや読取時間は増えますが、画質は向上します。

[100] [150] [200] [300] [400] [500] [600] [1200] の中から選択します。

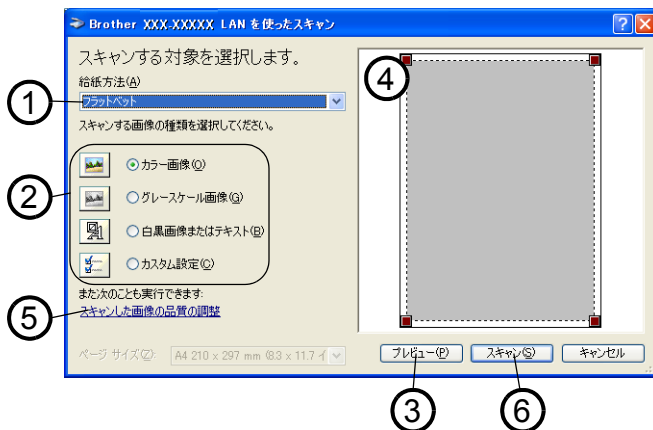
⑥画像の種類

[カラー画像] [グレースケール画像] [白黒画像またはテキスト] の中から選択します。

補足

- Windows® XP で、2400/4800/9600dpi の解像度を有効にするときは、「スキャナユーティリティ」を使って設定を変更します。（元に戻すこともできます。）
「スキャナユーティリティ」は以下の方法で起動します。
① ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Brother］－［(モデル名)］－［スキャナユーティリティ］の順に選択します。
「スキャナユーティリティ」が起動します。
※ アプリケーションによっては、1200dpi 以上の解像度でのスキャンに対応していないことがあります。

● プレビューで画像を調整する（Windows® XP）

プレビューは、低い画質ですばやく画像をスキャンし、確認できる機能です。画像のサムネイルがスキャンエリアに表示され、どのようにスキャンされるのか確認できます。

1 原稿の表側を下にして、原稿台ガラスに置きます。

2 ［給紙方法］のプルダウンメニューから［フラットベッド］（①）を選択します。

本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
リモートセットアップ
PC-FAXを使用する
その他の便利な使い方
付録

3 画像の種類を選択します。（②）

4 スキャンダイアログボックスの [プレビュー] ボタン（③）をクリックします。

原紙全体がパソコンにスキャンされ、ダイアログボックスのスキャンエリアに表示されます。

5 ④のウィンドウにてマウスの左ボタンを押しながらマウスをドラッグし、取り込みたい部分を指定します。

6 詳細設定が必要な場合は、[スキャンした画像の品質の調整]（⑤）をクリックします。

詳細プロパティ画面 P. 62 が表示され、「明るさ」「コントラスト」「解像度」「画像の種類」が選択できます。設定が終了したら [OK] を押します。

7 スキャンダイアログボックスの [スキャン] ボタン（⑥）を押します。

元画像中、選択された部分だけが取り込まれ、Presto!® PageManager® 画面（あるいはアプリケーションソフトの画面）に表示されます。

スキャナとして使う前に :Macintosh®

ドライバをインストールする必要があります

本機をスキャナとして使用する場合は、付属の CD-ROM に収録されているドライバをインストールする必要があります。また、スキャナを便利に使いこなすために Presto!® PageManager® の使用をお勧めします。
Presto!® PageManager® を使用すると、スキャンした文書や画像を管理したり、加工することができます。

補足

- ドライバやソフトウェアのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」をお読みください。
- 「Presto!® PageManager®」に関する詳細は、ソフトウェアに付属の電子マニュアルを参照してください。なお、テクニカルサポートに関する情報は以下のとおりです。

  ニューソフトジャパン株式会社　東京都港区新橋 6-21-3
  ニューソフトカスタマーサポートセンター
  Tel：03-5472-7008 、Fax：03-5472-7009
  受付時間：10：00 ～ 12：00 、13：00 ～ 17：00
  （土曜、日曜、祝祭日を除く）
  電子メール：support@newsoft.co.jp
  ホームページ：http://www.newsoft.co.jp/
- TWAIN とは、スキャナなどの画像入力デバイス用の関数（API）や手続きの集合体です。多くのスキャナやグラフィックソフトウェアが TWAIN に対応しています。

スキャナとして使う：Macintosh®

補足

● Mac OS® 8.6~9.2、Mac OS® X 10.2.1 以降で使用できます。

Macintosh® でスキャンする

Macintosh® からスキャンする場合は、TWAIN ドライバを使用し、TWAIN 対応のアプリケーション（Presto!® PageManager®、Adobe Photoshop® など）から実行します。本機と Macintosh® が USB ケーブルで接続されていることを確認してください。

1. Macintosh® を起動してアプリケーションソフトを起動します。

2. ADF（自動原稿送り装置）か原稿台ガラスに原稿をセットします。

3. Brother TWAIN のスキャナウィンドウを表示させます。
   お使いのアプリケーションソフトウェアによってメニューの名称などは異なります。
   - Presto!® PageManager® の場合
     [ファイル] メニューから [取り込む] の順に選択します。

4. 必要に応じてスキャナウィンドウ内の項目を設定します。

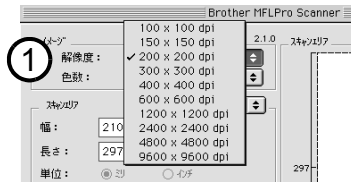
5. [スタート] ボタンをクリックします。スキャンが終了するとアプリケーション上にイメージが表示されます。

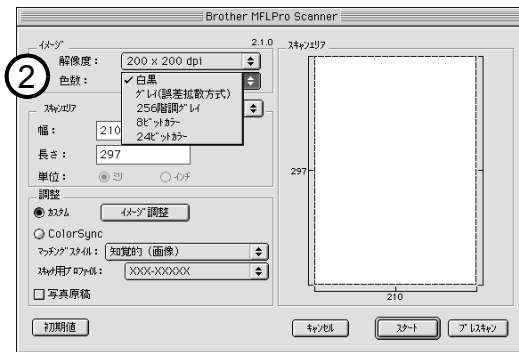
スキャナウィンドウの設定項目

スキャナウィンドウでは、以下の項目が設定できます。
なお、以下の説明では MacOS® 9.0 の場合の画面で記載しています。

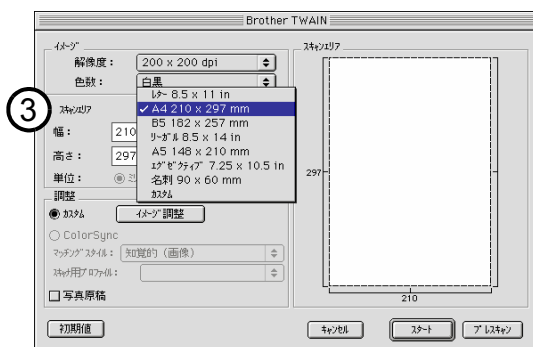
● イメージ

①解像度

スキャンの解像度は、解像度ポップアップメニューから選択します。より高い解像度を選択すると時間はかかりますが、精密なイメージを取り込むことができます。
モデルによって解像度は異なります。

②色数

取り込む色数を設定します。

白黒
線画およびテキストのとき。
グレイ（誤差拡散方式）
写真を含む原稿で比較的階調がはっきりしている原稿のとき。
256 階調グレイ
写真を含む原稿で微妙な表現を要求されるとき。
8 ビットカラー
256 色のカラーで取り込みます。ビジネス文書等に最適です。
24 ビットカラー
1677 万色のカラーで取り込みます。「8 ビットカラー」の約 3 倍の容量です。

③スキャンエリア

読み込む範囲を設定します。ポップアップメニューから選択することができます。また、任意の寸法を入力したり任意の範囲を指定することもできます。

● 調整

イメージ調整

[イメージ調整] ボタンをクリックして、「明るさ」「コントラスト」を調整します。濃い原稿のときは明るめに、うすい原稿のときはコントラストを強くします。

ネットワークスキャン機能を使う：Macintosh®

ネットワークスキャン機能とは

本機でスキャンしたデータを、ネットワーク上のパソコンへ送ったり保存できる機能です。

注意

■ ネットワークスキャン機能を使用するには、ネットワークボード（Nc9100h）が必要です。MFC-8820JN には標準装備されています。

■ あらかじめ本機の TCP/IP の設定が必要です。詳しくは、「ネットワーク設定説明書」をご覧ください。
すでにネットワークプリンタとして機能している場合は、TCP/IP が正しく設定されているので、設定する必要はありません。

■ Mac OS® 8.6 ～ 9.2 をお使いの場合は、この機能は使用できません。

ネットワークスキャンを使用する前に

ネットワークスキャン機能を使う場合は、スキャンしたデータを保存するパソコンをあらかじめ選ぶ必要があります。「かんたん設置ガイド」に記載されているインストール作業を行うと、コンピュータ名は自動的にインストールしたパソコンが登録されています。このまま使用する場合は操作する必要はありません。
IP アドレスを変更したり、保存先のパソコンを変える場合には、以下の手順で操作してください。

［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］－［DeviceSelector］の［DeviceSelector］をダブルクリックします。

「Device Selector」画面が開きます。
Device Selector は ControlCenter2.0 からも起動できます。

［ネットワーク］を選択します。

項目を設定します。

- IP アドレスを変更する場合は、新しい IP アドレスを入力します。
- 本機の名称を変更する場合は、「ノード名」に新しい名称を入力します。
- 使用できる機器の一覧を検索してから設定する場合は、［検索］をクリックして該当する製品名を探すこともできます。

［OK］をクリックします。

補足

● スキャンした画像データの保存に制限をつけたいときは

スキャンした画像データをパソコンに保存するとき、パスワードを入力しないと保存できないように設定できます。

「パソコンをブラザー製品のスキャンキーへ登録」をオンにして、4 桁の数字をパスワードとして登録します。

•

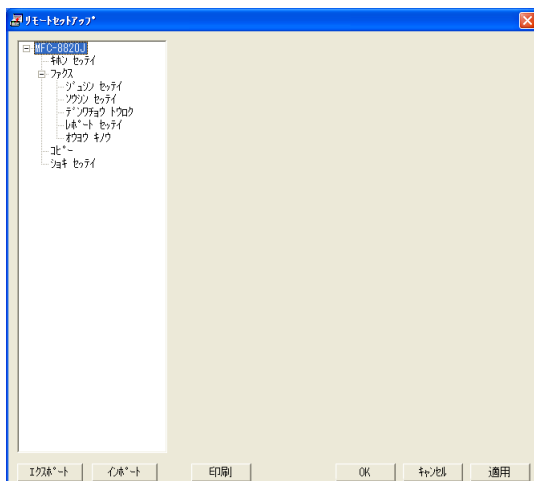
リモートセットアップ

■ リモートセットアップについて 72
設定できる項目 73

■ リモートセットアップ設定内容：Windows® 78
ボタンの説明 78
電話帳登録をする 79

■ リモートセットアップ設定内容：Macintosh®（Mac OS® X 10.1/10.2.1 以降）.... 80
ボタンの説明 80

リモートセットアップについて

通常、本機に対する機能設定は操作パネル上のナビゲーションキーとダイヤルボタンで行いますが、リモートセットアップを使用すると、本機に対する機能設定をパソコンで簡単に行うことができます。

リモートセットアップを起動すると、画面の左側に、機能の分類が表示されます。この分類は、機能一覧 P. 67 のメインメニューに対応しています。
機能の分類をクリックすると、画面の右側に設定可能な項目が表示されますので、必要に応じて、データを入力したりプルダウンメニューから選択することができます。

起動した直後は、本機に設定されている内容が自動的にパソコンにダウンロードされ、画面上に表示されます。

補足

- 本機に設定されている内容のダウンロードには、数分間かかることがあります。
- リモートセットアップを使用するには、お使いのパソコンに Brother ドライバ & ソフトウェアをインストールする必要があります。インストールのしかたについては、かんたん設置ガイドの「ドライバとソフトウェアをインストールします」を参照してください。
- リモートセットアップで設定した内容は、次に変更するまで有効です。
- ネットワークプリンタとして使用されている場合、接続方法によって、リモートセットアップを使用できないときがあります。
- ウィルスバスターなどのセキュリティ保護機能を持つソフトウェアが起動している場合、リモートセットアップ機能が使用できないことがあります。リアルタイム検索機能を「OFF」にするかセキュリティ保護機能を一時的に停止すると使用できるようになることがあります。操作のしかたはお使いのセキュリティ保護ソフトウェアの説明書をご覧ください。

設定できる項目

リモートセットアップで設定できる項目の一覧を以下に示します。

分類	中分類	項目	設定の可否
ショキ　セッテイ	ジュシンモード	－	○
	トケイ　セット	－	○
	ハッシンモト　トウロク	－	○
	トクベツカイセン　タイオウ	－	×
	カイセンシュベツ　セッテイ	－	○
	ヒョウジ　ゲンゴ	－	×
	ナンバー　ディスプレイ	－	×

本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
リモートセットアップ
PC-FAXを使用する
その他の便利な使い方
付録

☞次ページへ続く

分類	中分類	項目	設定の可否
キホン　セッテイ	モード　タイマー	―	○
	キロクシ　タイプ	タモクテキトレイ キロクシ　トレイ＃1 キロクシ　トレイ＃2	○ ○ ○
	キロクシ　サイズ	キロクシ　トレイ＃1 キロクシ　トレイ＃2	○ ○
	オンリョウ	チャクシンベル　オンリョウ キータッチ　オンリョウ スピーカー　オンリョウ	○ ○ ○
	ショウエネ　モード	トナー　セーブ スリープ　モード	○
	トレイ　センタク：コピー	―	○
	トレイ　センタク：ファクス	―	○
	ガメンノ　コントラスト	―	×

分類	中分類	項目	設定の可否
ファクス	ジュシン　セッテイ	ヨビダシ　カイスウ	○
		サイヨビダシ　カイスウ	○
		シンセツジュシン	○
		リモート　ジュシン	○
		ジドウ　シュクショウ	○
		インサツ　ノウド	○
		ポーリング　ジュシン	×
		リョウメン　インサツ	○
	ソウシン　セッテイ	ゲンコウ　ノウド	×
		ガシツ	○
		タイマー　ソウシン	×
		トリマトメ　ソウシン	○
		リアルタイム　ソウシン	○
		ポーリングソウシン	×
		ソウフショ	○
		ソウフショ　コメント	○
		カイガイソウシン　モード	×
	デンワチョウ　トウロク	ワンタッチ　ダイヤル	○
		タンシュク　ダイヤル	○
		グループ　ダイヤル	○
	レポート　セッテイ	ソウシン　レポート	○
		ツウシン　カンリ　カクニン	○
	オウヨウ　キノウ	テンソウ	○
		メモリー　ジュシン	○
		アンショウバンゴウ	○
		ファクス　シュツリョク	×
	ツウシン　マチ　カクニン	－	
	ドラム　ジュミョウ	－	×
	インサツ　カウンタ	－	×
コピー	ガシツ	－	○
	コントラスト	－	○

☞次ページへ続く

分類	中分類	項目	設定の可否
レポート　インサツ	キノウアンナイ	－	×
	デンワチョウ　リスト	－	×
	ツウシンカンリ　レポート	－	×
	ソウシン　レポート	－	×
	セッテイナイヨウ　リスト	－	×
	チャクシンキロク　リスト	－	×
LAN	ＴＣＰ／ＩＰ セッテイ	ＩＰ シュトク ホウホウ	○
		ＩＰ アドレス	○
		サブ ネット マスク	○
		ゲートウエイ	○
		ホスト メイ	○
		ＷＩＮＳ セッテイ	○
		ＷＩＮＳ サーバ	○
		ＤＮＳ サーバ	○
		ＡＰＩＰＡ	○
	インターネットセッテイ	メールアドレス	○
		ＳＭＴＰ	○
		ＰＯＰ ３	○
		メールボックスメイ	○
		パスワード	○
	メールジュシンセッテイ	ジドウジュシン	○
		ポーリングカンカク	○
		ヘッダインサツ	○
		エラーメールサクジョ	○
		ジュシンカクニン	○
	メールソウシンセッテイ	メールタイトル	○
		サイズセイゲン	○
		ジュシンカクニンヨウキュウ	○

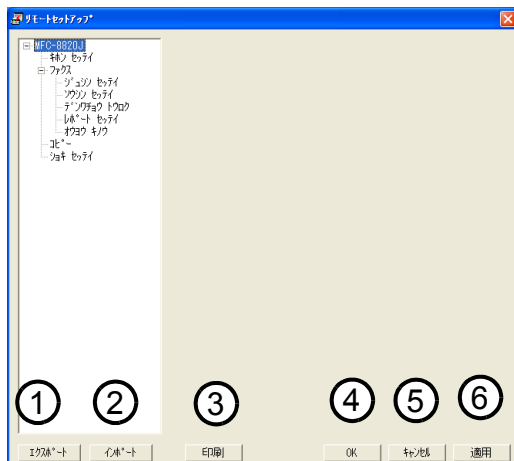
分類	中分類	項目	設定の可否
	リレーセッテイ	リレーキョカ	○
		キョカドメイン	○
		リレーレポート	○
	ソノタセッテイ	Netware	○
		Net Frame	○
		AppleTalk	○
		DLC／LLC	○
		Net BIOS／IP	○
		イーサネット	○
		タイムゾーン	○
	スキャン E メール		○

各項目の内容と選択項目についてはP. 67 を参照してください。

本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
リモートセットアップ
PC-FAXを使用する
その他の便利な使い方
付録

リモートセットアップ設定内容：Windows®

ボタンの説明

リモートセットアップを起動するには、[スタート]メニューから、[すべてのプログラム]－[Brother]－[モデル名]－[リモートセットアップ]の順に選択します。
リモートセットアップの画面のボタンについて説明します。

①エクスポート

現在の設定内容をファイルに保存します。

②インポート

ファイルに保存されている設定内容を読み込みます。

③印刷

「電話帳リスト」または「設定内容リスト」が印刷できます。（P. 166 と同じリストが印刷できます）ただし、本機に送信されるまで印刷できないため、[適用] をクリックして新しいデータを送信してから、[印刷] をクリックしてください。

④ OK

設定した内容を本機に送信するとともに、リモートセットアップを終了します。送信の際に、エラーメッセージが表示された場合は、正しいデータを再度入力して、[OK] をクリックします。

⑤キャンセル

設定した内容を本機に送信しないで、リモートセットアップを終了します。

⑥適用

設定した内容を本機に送信しますが、リモートセットアップは終了しません。

電話帳登録をする

リモートセットアップの操作の例として、電話帳登録をする場合について説明します。

画面の左側の機能分類から「ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ　ﾄｳﾛｸ」をクリックすると、次の画面が表示されます。

この画面で、電話番号と相手先名称を登録することができます。

- ワンタッチダイヤル：最大 40 件（01 ～ 40）
- 短縮ダイヤル：最大 300 件（001 ～ 300）

電話番号は 20 桁まで登録できます（カッコは使用できません）。
また、相手先名称は 15 桁まで入力できます。

リモートセットアップ設定内容：Macintosh® (Mac OS® X 10.1/10.2.1 以降)

ボタンの説明

リモートセットアップを起動するには、/Library/Printers/Brother/Utilities の中にある [Remote Setup] アイコンをクリックします。
リモートセットアップの画面のボタンについて説明します。

①エクスポート
　現在の設定内容をファイルに保存します。

②インポート
　ファイルに保存されている設定内容を読み込みます。

③印刷
　「電話帳リスト」または「設定内容リスト」が印刷できます。（P. 166 と同じリストが印刷できます）ただし、本機に送信されるまで印刷できないため、[適用] をクリックして新しいデータを送信してから、[印刷] をクリックしてください。

④ OK
　設定した内容を本機に送信するとともに、リモートセットアップを終了します。送信の際に、エラーメッセージが表示された場合は、正しいデータを再度入力して、[OK] をクリックします。

⑤キャンセル
　設定した内容を本機に送信しないで、リモートセットアップを終了します。

⑥適用
　設定した内容を本機に送信しますが、リモートセットアップは終了しません。

PC-FAX

■ PC-FAX を使用する：Windows®98/98SE/Me/2000/XP, Windows NT®4.0 82
PC-FAX を利用してファクスを送信する 82
個人情報を設定する 82
送信の設定 83
ファクススタイル画面を使用してファクス送信する 86
シンプルスタイル画面を使用してファクス送信する 87
アドレス帳に相手先を登録する 89
ワンタッチダイヤルに相手先を登録する 90
登録した相手先をワンタッチダイヤルから削除する 91
グループダイヤルに相手先メンバーを登録する 92
アドレス帳の相手先またはグループ情報を修正する 93
アドレス帳の相手先またはグループを削除する 94
アドレス帳をエクスポートする 95
アドレス帳にインポートする 96
送付書を作成する 98

■ ファクスを直接パソコンに取り込むための設定：Windows® 98/98SE/Me/2000/XP, Windows NT®4.0 . 100
[PC-FAX] 受信の起動 100
Brother PC-FAX 受信設定 100
新規 PC-FAX 受信メッセージの表示 101

■ PC-FAX を使用する：Macintosh® 102
PC-FAX を利用してファクスを送信する 102
MacOS® 8.6 ～ 9.2 環境上のアプリケーションからファクスを送る 102
電話帳に宛先を新規登録する 104
新規グループを登録する 105
MacOS® X 10.1/10.2.1 以降の環境上のアプリケーションからファクスを送る ... 106
MacOS® X アドレスブックアプリケーションの利用 108

PC-FAX を使用する：Windows®98/98SE/Me/2000/XP, Windows NT®4.0

PC-FAX を利用してファクスを送信する

PC-FAX を利用すると、パソコン上のアプリケーションで作成した印刷データをファクスとして送信することができます。また、送付書を添付して送付することもできます。
あらかじめ、PC-FAX の電話帳に相手先を登録しておくことで、ファクスの宛先として設定できます。P. 89
ファクススタイル画面とシンプルスタイル画面のどちらかを選択することができます。P. 83

補足

- PC-FAX は、モノクロのみ対応しています。
- 送信を行う前に個人情報、電話帳を設定しておくと便利です。
- Windows® 2000/XP をお使いの方はアドミニストレータ権限で使用してください。

個人情報を設定する

ファクスのヘッダーと送付書に使用される個人情報を設定します。
設定は、[Brother PC-FAX設定]ダイアログボックスの[個人情報]タブで行います。

[スタート] メニューから、[すべてのプログラム] - [Brother] - [(モデル名)] - [PC-FAX 設定] の順に選択します。

個人情報を入力します。

[OK] をクリックして、個人情報を保存します。

送信の設定

ファクス送信に関する設定を行います。

設定は、[Brother PC-FAX 設定] ダイアログボックスの [送信] タブで行います。

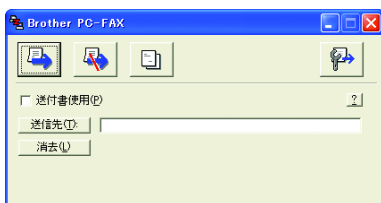
①ダイヤル設定

外線への接続に必要な番号を入力します。この番号は、PBX 電話システムで必要になる場合があります。
電話機を単独で使用している回線へ接続する場合、入力する必要はありません。

②ヘッダー

送信するファクスの先頭にヘッダー情報を追加する場合は、このチェックボックスをチェックします。

③送信操作画面

[シンプルスタイル] か [ファクススタイル] のどちらかを選択できます。

＜シンプルスタイル＞

＜ファクススタイル＞

④ネットワーク **PC-FAX**

ネットワーク PC-FAX が使用できます。使用するには「使用する」をチェックします。

相手先のファクス番号を PC-FAX アドレス帳に登録しておくと、送信先を簡単に指定できます。ここでは、使用するアドレス帳を設定します。

● 「Brother PC-FAX アドレス帳」をご利用の場合は、あらかじめアドレス帳を作成しておく必要があります。P. 89

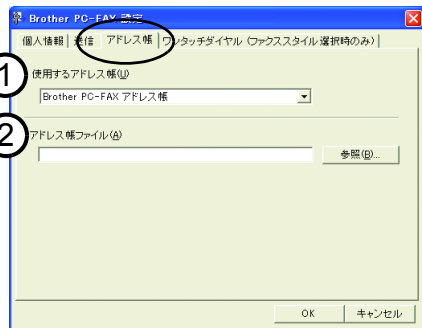
設定は、[Brother PC-FAX設定]ダイアログボックスの[個人情報]タブで行います。

1 ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］-［Brother］-［（モデル名）］-［PC-FAX 設定］の順に選択します。

「PC-FAX 設定」の画面が表示されます。

2 ［アドレス帳］タブをクリックし、アドレス帳に関する設定をします。

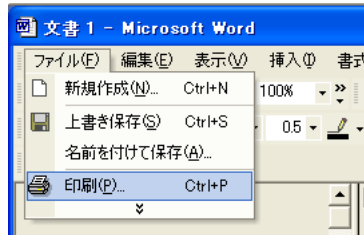
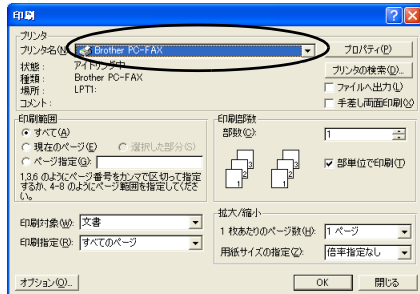
①使用するアドレス帳
送信先を設定したり、ワンタッチダイヤルの設定をするときに使用するアドレス帳を選びます。
通常は「BrotherPC-FAX アドレス帳」を選びますが、OutlookExpress のアドレス帳を利用する場合は、「OutlookExpress アドレス帳」を選びます。

②アドレス帳ファイル
ファイルのパスと名前を入力するか、［参照］をクリックしてファイルを選びます。

3 [OK] をクリックします。

PC-FAX で使用するアドレス帳が設定されます。

ファクススタイル画面を使用してファクス送信する

1 パソコン上のアプリケーションでファイルを作成します。

2 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

3 プリンタ名の ▼ から [Brother PC-FAX] を選択して、[OK] をクリックします。

4 以下のいずれかの方法でファクス番号を入力します。

- ダイヤルパッドをクリックして番号を入力する。
- 10 個のワンタッチダイヤルボタンのいずれかをクリックする。
- [電話帳] ボタンをクリックし、電話帳から送付先を選択する。
- OutlookExpress のアドレス帳のデータを利用することもできます。P. 85

5 [送信] をクリックします。

ファクス送信が開始されます。

- ファクススタイル画面を使用してファクス送信する場合は、[Brother PC-FAX 設定] ダイアログボックスの [送信] タブで「ファクススタイル」を選択しておく必要があります。
- ファクススタイル画面のボタンについて以下に説明します。

①送付書使用

ファクスに送付書とコメントを付けて送信する場合にクリックします。

②送付書の作成

送付書の内容を入力したり変更する場合にクリックします。

③消去

ファクス番号を間違って入力したときにクリックします。

④再ダイヤル

ファクスを再送する場合にクリックします。[再ダイヤル] ボタンを押すたびに最新のものからさかのぼって 5 件表示されます。再送したいファクス番号が表示されたら、[送信] ボタンをクリックします。

シンプルスタイル画面を使用してファクス送信する

パソコン上のアプリケーションでファイルを作成します。

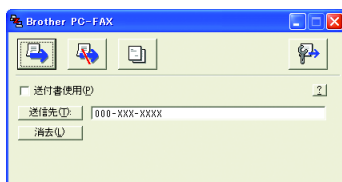
2

[ファイル] メニューから [印刷] を選択します。

3

プリンタ名の ▼ から [Brother PC-FAX] を選択して、[OK] をクリックします。

[送信先] に、相手のファクス番号を入力します。

- 相手のファクス番号は、[送信先] ボタンをクリックして電話帳から選択することもできます。
- OutlookExpress のアドレス帳のデータを利用することもできます。P. 85

送付書とコメントを付けてファクスを送信する場合は、[送付書使用] の設定を選択します。

をクリックします。

ファクス送信が開始されます。

補足

- シンプルスタイル画面を使用してファクス送信する場合は、[Brother PC-FAX 設定] ダイアログボックスの [送信] タブで「シンプルスタイル」を選択しておく必要があります。
- 相手のファクス番号は、[送信先] ボタンをクリックして電話帳から選択することもできます。
- ファクス番号を間違って入力したときには、[消去] ボタンをクリックします。
- をクリックすると、送付書の内容を入力したり変更することができます。

アドレス帳に相手先を登録する

相手先の登録は、[PC-FAX アドレス帳] ダイアログボックスで行います。

1 [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] - [Brother] - [(モデル名)] - [PC-FAX アドレス帳] の順に選択します。

右の画面が表示されます。

2 をクリックします。

右の画面が表示されます。

3 メンバーの情報を入力します。

[名前] の入力は必須です。

4 [決定] をクリックして、メンバーの情報を保存します。

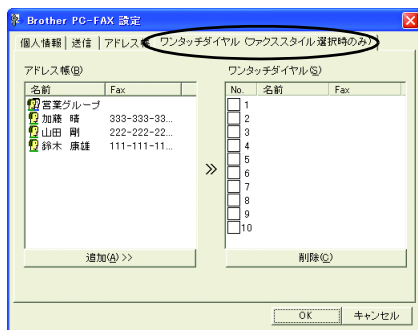
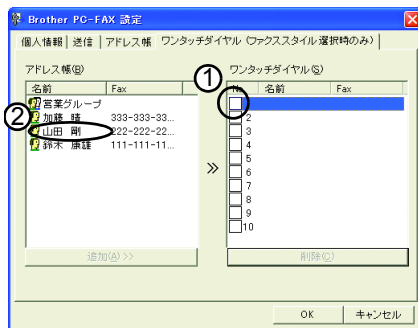
補足

- 登録情報を追加、編集、削除する場合も、[PC-FAX アドレス帳] ダイアログボックスで行います。
- 電話帳には 3000 件までのデータを登録することが可能です。

ワンタッチダイヤルに相手先を登録する

メンバーまたはグループを 10 個のワンタッチダイヤルボタンに登録できます。登録しておくと、ワンタッチダイヤルボタン（1 から 10 のいずれか）を押すだけで、ワンタッチで送信先を指定することができます。

1 [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] - [Brother] - [(モデル名)] - [PC-FAX 設定] の順に選択します。

2 [Brother PC-FAX 設定] ダイアログボックスの [ワンタッチダイヤル] タブをクリックします。

3 [ワンタッチダイヤル] ボックスの番号をクリックします（①）。続けて、[アドレス帳] ボックスから、この番号に登録するメンバーまたはグループをクリックします（②）。

4 [追加 (A)>>] をクリックします。

登録したいワンタッチダイヤルについて、手順 3、4 の操作を繰り返します。

5 [OK] をクリックします。

ワンタッチダイヤルの設定がアドレス帳に保存されます。

登録した相手先をワンタッチダイヤルから削除する

1. [ワンタッチダイヤル] ボックスから、削除する相手先またはグループをクリックします。

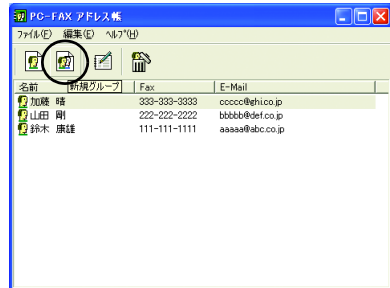
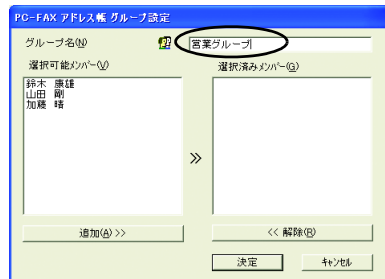
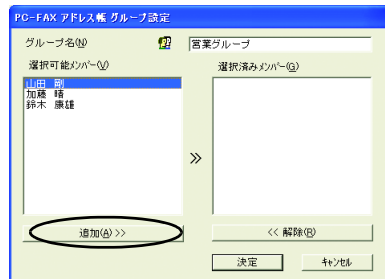
2. [削除] をクリックします。

補足

- ワンタッチダイヤルを使用するには、[送信] ダブの [送信操作画面] で「ファクススタイル」を選択する必要があります。

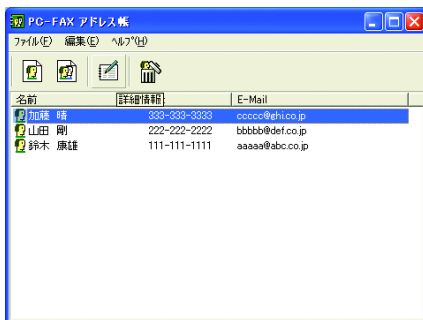
グループダイヤルに相手先メンバーを登録する

同一のファクスを複数の相手に繰り返し送信する場合は、複数のメンバーをグループにまとめることができます。

[PC-FAX アドレス帳] ダイアログボックスで、 をクリックします。

2 [グループ名] にグループ名を入力します。

3 [選択可能メンバー] ボックスで、グループに追加するメンバーを選択してから、[追加 (A)>>] をクリックします。追加したメンバーは、[選択済みメンバー] ボックスに一覧表示されます。

4 メンバーの追加後、[決定] をクリックします。

- 同報送信は最大 300ヶ所まで設定できます。

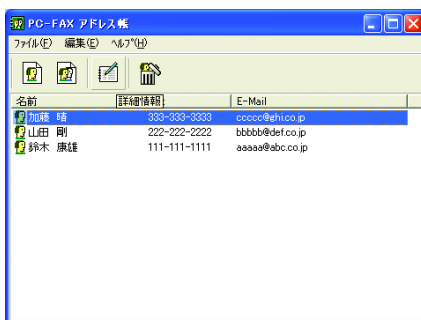
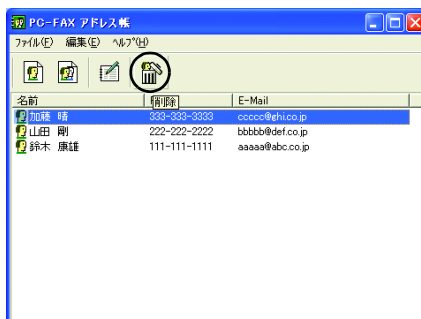
アドレス帳の相手先またはグループ情報を修正する

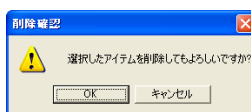
1 [PC-FAX アドレス帳] ダイアログボックスで、編集する相手先またはグループを選択します。

2 をクリックします。

3 相手先またはグループ情報を編集します。

4 [決定] をクリックして、変更を保存します。

アドレス帳の相手先またはグループを削除する

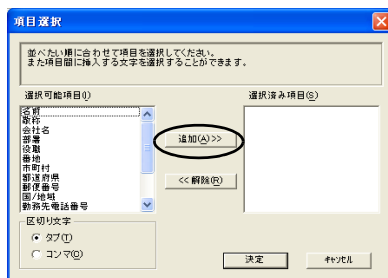
1 [PC-FAX アドレス帳] ダイアログボックスで、削除する相手先またはグループを選択します。

2 をクリックします。

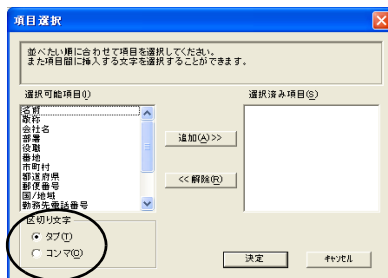
3 [削除確認] ダイアログボックスが表示されたら [OK] をクリックします。

アドレス帳をエクスポートする

アドレス帳は、CSV 形式のファイルにエクスポートすることができます。また、選択されたメンバーの Vcard（電子名刺）を作成し、送信者のすべての送信電子メールに添付することもできます。

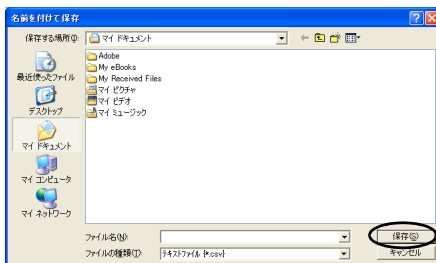
1 [PC-FAX アドレス帳] ダイアログボックスで、[ファイル] - [エクスポート] - [Text] の順にクリックします。

[Vcard] を選択した場合は、手順 5 に進みます。

2 エクスポートする項目を選んで、[追加 >>] をクリックします。

3 [区切り文字] で [タブ] または [コンマ] を選択します。

この設定により、エクスポート時に各項目の間にタブかコンマが挿入されます。

4 [決定] をクリックしてデータを保存します。

5 ファイル名を入力してから、[保存] をクリックします。

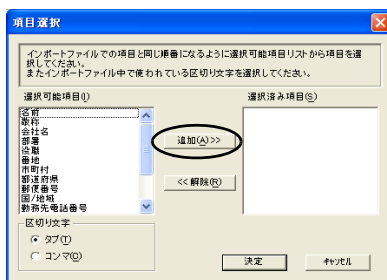
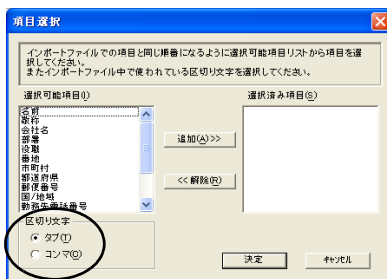
補足

- アドレス帳をエクスポートすることにより、他のアプリケーションのアドレス帳として使用することができます。
- 手順 1 で [Vcard] を選択した場合は手順 5 に進み、[ファイルの種類] は [Vcard(＊ .vcf)] になります。
- エクスポートする項目を選択する場合は、並べたい順番に選択してください。
- Vcard（電子名刺）には、送信者の連絡先情報が格納されています。
- Vcard を作成する場合、メンバーを最初に選択しなければなりません。

アドレス帳にインポートする

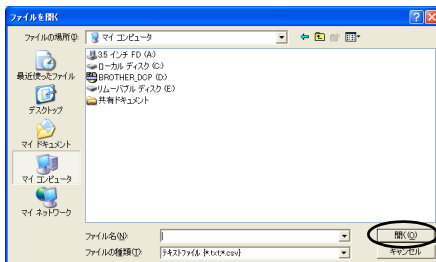
CSV 形式のファイルまたは vcf 形式のファイル（Vcards：電子名刺）を、アドレス帳にインポートできます。

1 PC-FAX アドレス帳の画面で、[ファイル] - [インポート] - [Text] の順にクリックします。

[Vcard] を選択した場合は、手順 5 に進みます。

2 [選択可能項目] 欄からインポートする項目を選択してから、[追加 >>] をクリックします。

3 インポートするファイル形式により、[区切り文字] で [タブ] または [コンマ] を選択します。

4 [決定] をクリックして、データをインポートします。

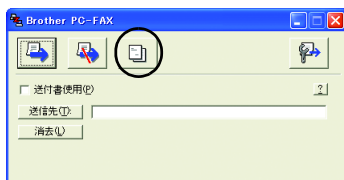
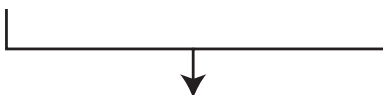
☞ 次ページへ続く

ファイル名を入力して、[開く] をクリックします。

補足

- 手順 1 で [Vcard] を選択した場合は手順 5 に進み、[ファイルの種類] は [Vcard(＊ .vcf)] になります。
- インポートする項目を選択する場合は、元のファイル項目の並び順に合わせて選択してください。

本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
リモートセットアップ
PC-FAXを使用する
その他の便利な使い方
付録

送付書を作成する

ファクスを送信する画面（シンプルスタイルまたはファクススタイル）で [アイコン] をクリックすると、以下の画面が表示されます。

＜シンプルスタイル＞　＜ファクススタイル＞

①送信先

送信先の情報を入力します。

②送信元

送信元の情報を入力します。

③コメント

送付書に追加するコメントを入力します。

④フォーム

送付書のスタイルを選択します。

挿入 BMP ファイル

会社のロゴなどのビットマップファイルを送付書に挿入する場合にチェックします。

[参照] ボタンをクリックして BMP ファイルを選択してから、ビットマップファイルの配置を選択します。

送付書をページ数に加える

チェックボックスをチェックすると、送付書がファクスの送付枚数に含まれます。チェックを外すと、送付書は送付枚数に含まれません。

補足

- 複数の相手先にファクスを送信する場合、受信者情報は送付書に印刷されません。
- 個人情報が設定されていれば、送信元の情報は自動的に引用されます。
- 送付先の名称に敬称は自動的に付加されません。敬称が必要な場合は、送信先の名称を編集して敬称を付けてください。

ファクスを直接パソコンに取り込むための設定：Windows® 98/98SE/Me/2000/XP, Windows NT®4.0

[PC-FAX] 受信の起動

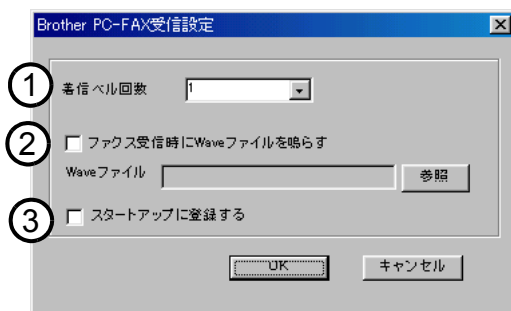
1 スタートメニューの、[すべてのプログラム]-[Brother]-[(モデル名)]-[PC-FAX受信]の順で選択します。

2 [タスクバー上にPC-FAXのアイコン 10:40 が表示されます。

Brother PC-FAX 受信設定

1 タスクバー上のPC-FAXアイコン 10:40 を右クリックし、「受信設定」をクリックします。

2 「Brother PC-FAX受信設定」ダイアログが表れます。

● Brother PC-FAX 受信設定 ダイアログ

①着信ベル回数

着信ベル回数を選択します。

②ファクス受信時にWaveファイルを鳴らす

ファクス受信時にWaveファイルを鳴らす場合はチェックします。

③スタートアップに登録する

チェックすると、パソコンを起動する際に自動的にPC-FAX受信が起動されます。

- WindowsNT®4.0 をお使いの方は、PC-FAX 受信設定ダイアログに受信 FAX を保存するフォルダを指定する画面が表示されます。任意のフォルダに受信 FAX を保存することができます。

新規 PC-FAX 受信メッセージの表示

PC-FAX を受信するごとに、青と赤のアイコン がタスクバー上で点滅します。赤のアイコンは受信後も表示されます。

1. をダブルクリックして Presto!® Page Manager® を起動します。
2. フォルダ「Faxes」を開きます。
3. 新規のファクスをダブルクリックして開くと、それを見ることができます。

補足

- 受信日時がファイル名として表示されます。
- PC-FAX 受信を起動すると、受信したファクスはすべて直接パソコンに取り込まれます。また、受信モードをどのモードに設定していても、「ファクス専用モード」と同様に機能します。
  受信モードの詳細は P. 51 を参照してください。
- WindowsNT®4.0 をお使いの方は、Presto!® Page Manager® がインストールされませんので、上記操作を行っても PC-FAX 受信メッセージは表示されません。PC-FAX 機能で受信したデータは、PC-FAX 受信設定ダイアログ内で保存先に指定したフォルダに保存されます。このフォルダ内の受信データは、Windows 付属の Imaging などの Viewer ソフトで確認することができます。P. 100 を参照してください。
- 本機に外付電話機を取り付けている場合は、[Brother PC-FAX 受信設定] ダイアログで着信ベル回数を任意の回数に設定してください。着信ベルがなっている間は外付電話に応答することができます。

PC-FAX を使用する：Macintosh®

PC-FAX を利用してファクスを送信する

PC-FAX を利用すると、Macintosh® 上のアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信することができます。
あらかじめ、PC-FAX の電話帳に相手先を登録しておくことで、電話帳を呼び出して、ファクスの宛先として設定できます。

補足

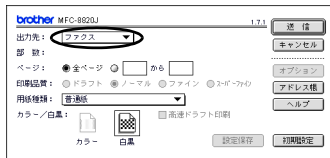
- Mac OS® X への対応状況は、弊社ホームページにて最新情報を公開しております。以下のサイトを参照してください。
  http://solutions.brother.co.jp
- PC-FAX は、モノクロのみ対応しています。

MacOS® 8.6 ～ 9.2 環境上のアプリケーションからファクスを送る

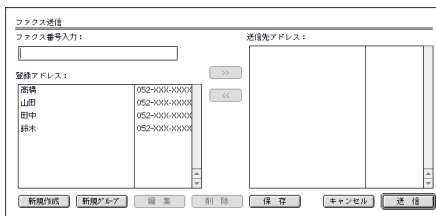
1 Macintosh® のアプリケーションでファイルを作成します。

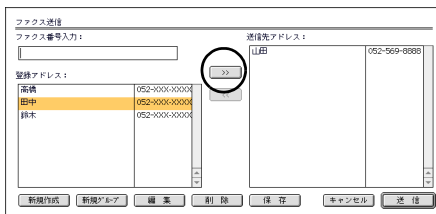
2 [ファイル] メニューから [プリント] を選択します。

プリントダイアログが表示されます。

3 [出力先] から [ファクス] を選択します。

☞ 次ページへ続く

[送信] をクリックします。

[ファクス送信] ダイアログが表示されます。左のボックスには保存されているファクス番号リスト、右のボックスには送信先のファクス番号がそれぞれ表示されます。

ファクス番号入力ボックスにファクス番号を入力します。または、ファクス番号リストボックスから名前またはファクス番号を選択して [>>] をクリックします。

ファクスの受信者ボックスに宛先が表示されます。

[送信] をクリックします。

ファクス送信が開始されます。

補足

- 手順 5 で、[Shift] キーと [Ctrl] キーを使用すると、複数の宛先を一度に指定できます。また、手順 5 の画面で、[新規作成] をクリックすると、新しい宛先を電話帳に追加することができます。電話帳への登録については P. 89 を参照してください。
  また、[グループ] をクリックすると新しいグループを登録できます。グループの登録については P. 105 を参照してください。
- 原稿の特定のページのみを選択して送信する場合には、[ＯＫ] をクリックして [プリント] ダイアログに戻ります。

本書の使い方・目次
プリンタ
スキャナ
リモートセットアップ
PC-FAXを使用する
その他の便利な使い方
付録

電話帳に宛先を新規登録する

1 [ファクス]ダイアログの[アドレス帳]をクリックします。

[アドレス帳]ダイアログボックスが表示されます。

2 [新規作成]をクリックします。

右のダイアログボックスが表示されます。

3 名前とファクス番号を入力します。

- メモ欄には１５文字以内のコメントを入力できます。

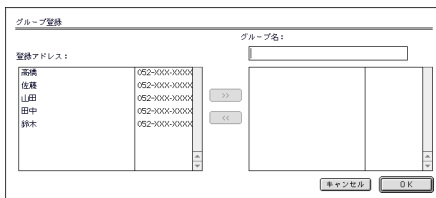
4 [OK]をクリックして、[電話帳]ダイアログボックスに戻ります。

補足

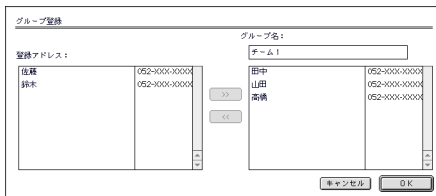
- ファクスの宛先を指定している途中でも新しい宛先やグループを登録できます。
- 電話帳には3000件までのデータを登録することが可能です。

新規グループを登録する

1 [新規グループ] をクリックします。

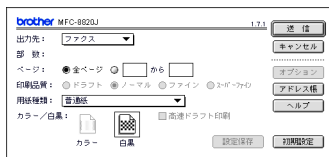
[グループ登録] ダイアログボックスが表示されます。

2 グループ名欄にグループ名を入力します。

3 ファクス番号リストで目的の名前を指定し [>>] をクリックします。

指定した名前はグループ名欄の下に表示されます。

4 [OK] をクリックします。

[アドレス帳] ダイアログボックスが表示されます。

5 [OK] をクリックします。

[ファクス] ダイアログボックスが再び表示されます。

6 ファクスを送信する準備ができたら [送信] をクリックします。

補足

- ファクスの送信手順については P. 102 を参照してください。

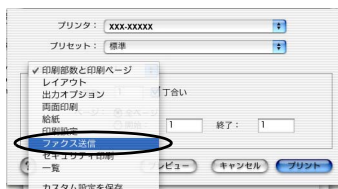
MacOS® X 10.1/10.2.1 以降の環境上のアプリケーションからファクスを送る

1 Macintosh® のアプリケーションでファイルを作成します。

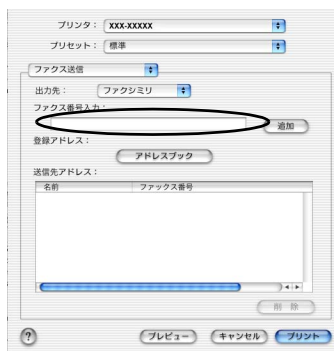
2 [ファイル] メニューから [プリント] を選択します。

プリントダイアログが表示されます。

プリンタ： XXX-XXXXX
プリセット： 標準
印刷部数と印刷ページ
部数： 1 丁合い
ページ： 全ページ
開始： 1 終了： 1
プレビュー キャンセル プリント

3 プルダウンメニューから [ファクス送信] を選択します。

4 [出力先] プルダウンメニューから [ファクシミリ] を選択します。

☞ 次ページへ続く

ファクス番号入力ボックスにファクス番号を入力します。

[プリント] をクリックします。

ファクス送信が開始されます。

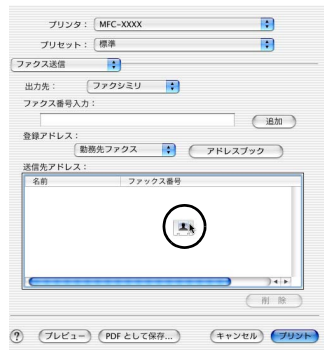
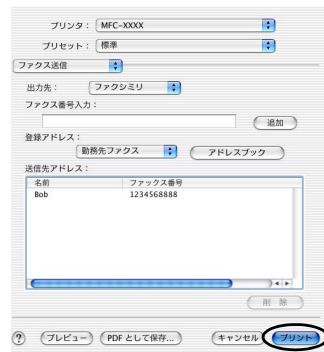
MacOS® X アドレスブックアプリケーションの利用

アドレスブックから vCard をドラッグすることで送信先を設定することができます。

1 [アドレスブック] をクリックします。

アドレスブックが起動します。

2 アドレスブックから vCard を [送信先アドレス] までドラッグします。

[送信先アドレス] に番号が表示されます。

3 ファクス送信先の設定が完了したら、[プリント] をクリックします。

■ vCard は自宅ファクス番号または勤務先ファクス番号が登録されたものを使用してください。

■ 登録アドレスプルダウンリストから自宅ファクスまたは勤務先ファクスを選択することで vCard 内のどのカテゴリのファクス番号を使うかが決定されます。vCard 内に登録されているファクス番号がひとつのみの場合、選択されたカテゴリ（自宅または勤務先）に関係なく、そのファクス番号が送信先として設定されます。

5章

その他の便利な使い方（ControlCenter2.0）

■ ControlCenter2.0 とは：Windows® 112
ControlCenter2.0 の基本操作 112
使用できる機能 113
ControlCenter2.0 を起動する 114
■ スキャン：Windows® 115
■ カスタム：Windows® 117
■ コピー：Windows® 119
■ PC-FAX：Windows® 121
■ デバイス設定：Windows® 122
■ ControlCenter2.0 とは：Macintosh® 123
ControlCenter2.0 の基本操作 123
使用できる機能 124
ControlCenter2.0 を起動する 125
■ スキャン：Macintosh® 126
■ カスタム：Macintosh® 128
■ コピー /PC-FAX：Macintosh® 130
■ デバイス設定：Macintosh® 132

ControlCenter2.0 とは：Windows®

本機を設置したときにインストールされるソフトウェアのひとつで、本機が持つスキャナ、PC-FAX などの機能の入り口の役割を持っています。

ControlCenter2.0 の基本操作

ControlCenter2.0 では、本機で利用できるさまざまな機能をボタンをクリックするだけで呼び出せます。
ControlCenter2.0 の画面が表示されたら、以下の手順で機能を選択します。

①モデル名を選択する
　ネットワーク接続などで複数の機器が接続されているときは、操作するモデル名を選択します。
②機能タブをクリックする
　スキャン、PC-FAX など機能の種類を選択します。
　お使いのモデルによって表示されるタブの数は変わります。
③使用する機能のボタンをクリックする
　機能タブを選んで表示されるボタンから使用したい項目を選択します。設定されたソフトウェアや設定画面が起動し、機能が実行されます。
　お使いのモデルによって表示されるボタンの数は変わります。

- ［設定］をクリックして表示されるメニューを使用すると、タブの表示内容に関係なく各項目の設定画面を表示できます。

使用できる機能

ControlCenter2.0 画面の左側には、機能の種類別にタブが表示されます。それぞれのタブでできることは以下のとおりです。

①スキャン

使用する目的に応じて原稿をスキャンします。画像データとして保存したり、テキストデータを抜き出したり、E メールにデータを添付することができます。P. 115

②カスタム

よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を 4 つまで登録できます。P. 117

③コピー

原稿をコピーします。コピー時の設定を 4 つまで登録できます。P. 119

④ PC-FAX

スキャンしたデータを本機を使用してファクス送信できます。ファクスを受信して、内容を確認することもできます。P. 121

⑤デバイス設定

リモートセットアップを使って本機の設定を確認できます。P. 121

補足

- ［設定］をクリックして表示されるメニューを使用すると、タブの表示内容に関係なく各項目の設定画面を表示できます。
- Windows NT® をお使いの方は、ControlCenter2.0 から PC-FAX を起動することができません。［スタート］メニューから［プログラム］-［Brother］-［（モデル名）］-［PC-FAX 受信］を選択します。

ControlCenter2.0 を起動する

［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］-［Brother］-［(モデル名)］-［ControlCenter2.0］を選択します。

ControlCenter2.0 のウィンドウが開き、タスクトレイに が表示されます。

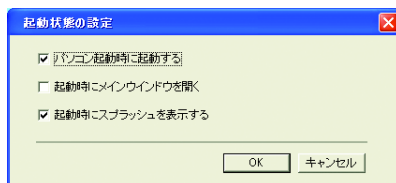
起動時の動作を設定する

パソコンを起動したとき、ControlCenter2.0 も同時に起動させることができます。

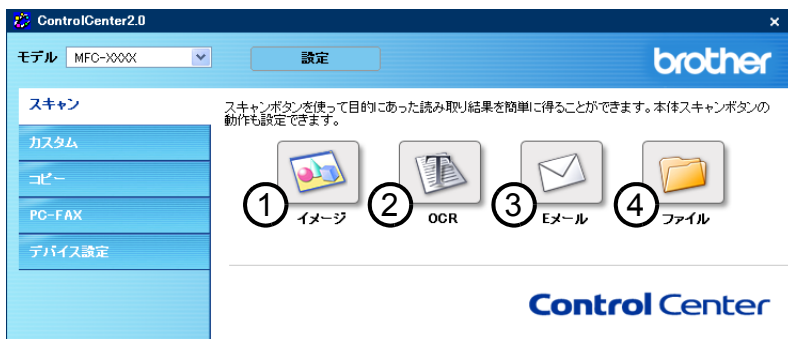
タスクトレイの を右クリックし、［起動状態の設定］を選択します。

「起動状態の設定」ダイアログボックスが表示されます。

起動時の動作を選択します。

- パソコン起動時に起動する：
  ControlCenter2.0 が起動し、タスクトレイで待機します。
- パソコン起動時にウィンドウを開く：
  ControlCenter2.0 が起動し、ウィンドウを開きます。
- 起動時にスプラッシュを表示する：
  起動時にスプラッシュ画面を表示します。

[OK] をクリックします。

スキャン：Windows®

使用する目的に応じて、データをスキャンします。本機のスキャンボタンの動作も設定できます。

①イメージ

原稿をスキャンして、任意のアプリケーションで開きます。

② **OCR**

文字の入った原稿をスキャンして、パソコンで編集できる文字データ（テキストデータ）に変換します。

③ **E メール**

スキャンした原稿を添付ファイルにして、メールの送信画面を起動します。

④ファイル

原稿をスキャンして、すぐにパソコンの指定したフォルダに保存します。

「E メール」、「ファイル」の場合、ファイル形式を選択することができます。

ファイル形式ー保存したいファイル形式をファイル形式のプルダウンメニューから選択することができます。

- Windows ビットマップ（*.BMP）
- JPEG（*.JPG）
- TIFF ー非圧縮（*.TIF）
- TIFF ー圧縮（*.TIF）
- TIFF マルチページー非圧縮（*.TIF）
- TIFF マルチページー圧縮（*.TIF）
- ポータブルネットワークグラフィック PNG（*.PNG）
- PDF（*.PDF）

スキャンの設定を変更する

起動するアプリケーションやスキャン時の設定は、以下の手順で変更できます。

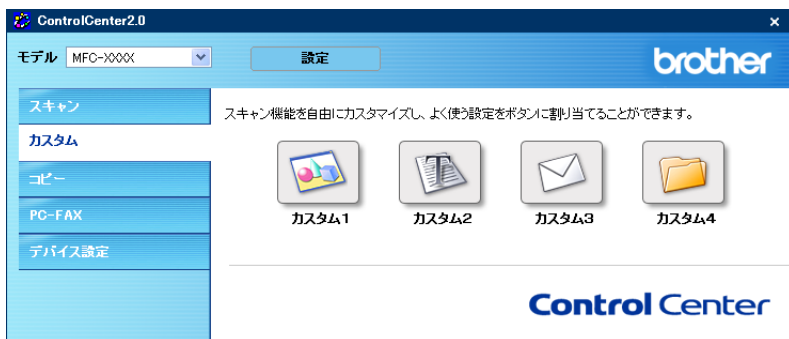
各ボタンを右クリックして表示されるメニューから［設定］を選択します。

［ControlCenter の設定］タブをクリックし、内容を設定します。

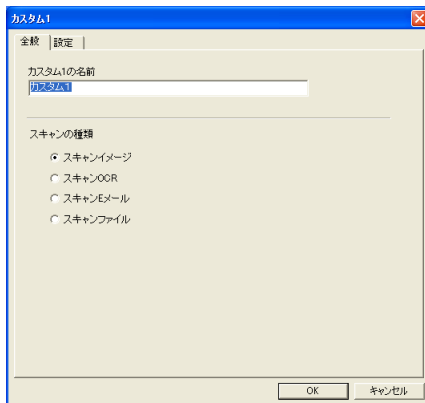
［本体スキャンボタンの設定］タブをクリックすると、本機のスキャンボタンからスキャンする動作を設定できます。

例）「イメージ」の場合

カスタム：Windows®

よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を 4 つまで登録できます。

よく使う設定を登録する

1 ボタンを右クリックして［設定］を選択します。

「カスタム」ダイアログボックスが表示されます。

2 「カスタムの名前」に名前を入力します。

3 スキャンの種類を選択します。

スキャンの種類は「イメージ」「OCR」「E メール」「ファイル」から選びます。

4 「設定」タブで他の項目を必要に応じて設定します。

5 ［OK］をクリックします。

設定した内容で登録されます。

スキャンを実行する

1 原稿をセットして設定したボタンをクリックする

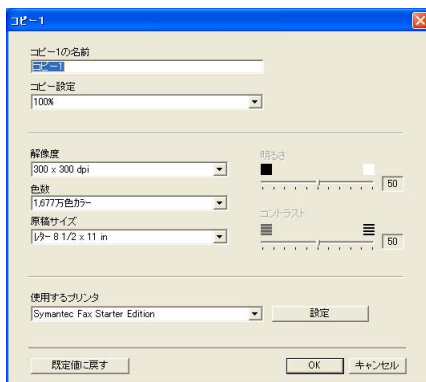
設定に従ってスキャンが実行されます。

コピー：Windows®

原稿をコピーします。コピー時の設定を 4 つまで登録できます。

コピーの設定を登録する

1 ボタンを右クリックして［設定］を選択します。

「コピー」ダイアログボックスが表示されます。

2 「コピーの名前」に名前を入力します。

3 「コピーの名前」を選択します。

「コピー設定」は、「用紙サイズに合わせる」または「100%」から選びます。

4

他の項目を必要に応じて設定します。

5

［OK］をクリックします。

設定した内容で登録されます。

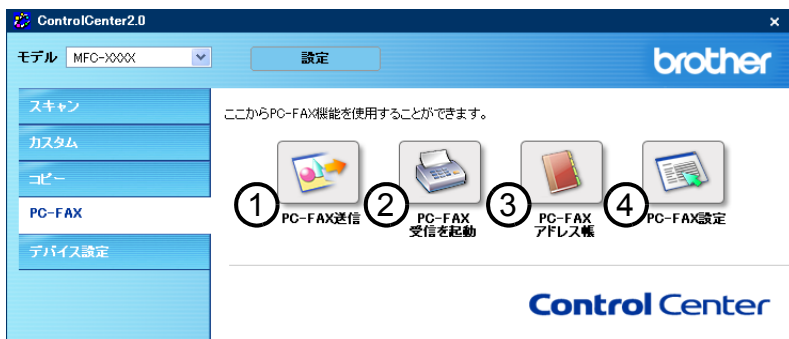
コピーを実行する

1

原稿をセットして設定したボタンをクリックする

設定に従ってコピーが実行されます。

PC-FAX：Windows®

スキャンしたデータを本機を使用してファクス送信できます。ファクスを受信して、パソコンで内容を確認することもできます。

① **PC-FAX 送信**

スキャンしたデータを PC-FAX 送信します。

PC-FAX 送信の操作については、「ファクススタイル画面を使用してファクスを送信する」P. 86 または「シンプルスタイル画面を使用してファクスを送信する」P. 87 を参照してください。

② **PC-FAX 受信を起動**

ファクスをパソコンで受信するときにクリックします。ファクスを受信すると、ボタンが　に変わります。

PC-FAX 受信の操作については、「ファクスを直接パソコンに取り込むための設定」P. 100 を参照してください。

Windows NT®4.0 をお使いの方は、ControlCenter2.0 では「PC-FAX 受信を起動」が表示されません。PC-FAX 受信設定についてはP. 100 P. 101 を参照してください。

③ **PC-FAX アドレス帳**

PC-FAX アドレス帳に相手先を登録します。

PC-FAX アドレス帳の操作については、「電話帳にメンバーを登録する」P. 89 を参照してください。

④ **PC-FAX 設定**

PC-FAX を送信するとき、ファクスのヘッダや送信者名に挿入される個人情報を登録、編集します。

個人情報の登録については、「個人情報を設定する」P. 82 を参照してください。

デバイス設定：Windows®

リモートセットアップを使って本機の設定を確認できます。

①リモートセットアップ

パソコン上で本機に関する機能設定ができます。

リモートセットアップについては、「リモートセットアップ」P. 71 を参照してください。

ControlCenter2.0 とは：Macintosh®

本機を設置したときにインストールされるソフトウェアのひとつで、本機が持つスキャナ、PC-FAX などの機能の入り口の役割を持っています。

補足

- Mac® OS 8.6 ～ 9.2 をお使いの場合は、この機能は使用できません。

ControlCenter2.0 の基本操作

ControlCenter2.0 では、本機で利用できるさまざまな機能をボタンをクリックするだけで呼び出せます。
ControlCenter2.0 の画面が表示されたら、以下の手順で機能を選択します。

①モデル名を選択する

ネットワーク接続などで複数の機器が接続されているときは、操作するモデル名を選択します。

②機能タブをクリックする

スキャン、PC-FAX など機能の種類を選択します。
お使いのモデルによって表示されるタブの数は変わります。

③使用する機能のボタンをクリックする

機能タブを選んで表示されるボタンから使用したい項目を選択します。設定されたソフトウェアや設定画面が起動し、機能が実行されます。
お使いのモデルによって表示されるボタンの数は変わります。

補足

- ［設定］をクリックして表示されるメニューを使用すると、タブの表示内容に関係なく各項目の設定画面を表示できます。

使用できる機能

ControlCenter2.0 画面の左側には、機能の種類別にタブが表示されます。それぞれのタブでできることは以下のとおりです。

①スキャン

使用する目的に応じて原稿をスキャンします。画像データとして保存したり、テキストデータを抜き出したり、E メールにデータを添付することができます。P. 115

②カスタム

よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を 4 つまで登録できます。P. 117

③コピー /PCFAX

原稿をコピーします。コピー時の設定を 4 つまで登録できます。P. 119

また、スキャンしたデータを本機を使用してファクス送信できます。ファクスを受信して、内容を確認することもできます。P. 121

④デバイス設定

リモートセットアップを使って本機の設定を確認できます。P. 121

- ［設定］をクリックして表示されるメニューを使用すると、タブの表示内容に関係なく各項目の設定画面を表示できます。

ControlCenter2.0 を起動する

［MacintoshHD］-［ライブラリ］-［Printers］-［Brother］-［Utilities］-［ControlCenter］から［ControlCenter］アイコンをクリックします。

ControlCenter2.0 のウィンドウが開き、タスクトレイに が表示されます。

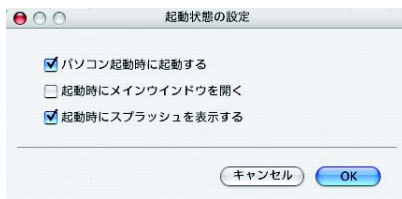
起動時の動作を設定する

パソコンを起動したとき、ControlCenter2.0 も同時に起動させることができます。

メニューバーの をクリックして、[起動状態の設定] を選択します。

「起動状態の設定」ダイアログボックスが表示されます。

2 起動時の動作を選択します。

- パソコン起動時に起動する：ControlCenter2.0 が起動し、メニューバーで待機します。
- 起動時にメインウィンドウを開く：ControlCenter2.0 が起動し、ウィンドウを開きます。
- 起動時にスプラッシュを表示する：起動時にスプラッシュ画面を表示します。

[OK] をクリックします。

スキャン：Macintosh®

使用する目的に応じて、データをスキャンします。本機のスキャンボタンの動作も設定できます。

①イメージ

原稿をスキャンして、任意のアプリケーションで開きます。

② OCR

文字の入った原稿をスキャンして、パソコンで編集できる文字データ（テキストデータ）に変換します。

③ E メール

スキャンした原稿を添付ファイルにして、メールの送信画面を起動します。

④ファイル

原稿をスキャンして、すぐにパソコンの指定したフォルダに保存します。

「E メール」、「ファイル」の場合、ファイル形式を選択することができます。

ファイル形式ー保存したいファイル形式をファイル形式のプルダウンメニューから選択することができます。

- Windows ビットマップ（*.BMP）
- JPEG（*.JPG）
- TIFF ー非圧縮（*.TIF）
- TIFF ー圧縮（*.TIF）
- TIFF マルチページー非圧縮（*.TIF）
- TIFF マルチページー圧縮（*.TIF）
- ポータブルネットワークグラフィック PNG（*.PNG）
- PDF（*.PDF）

スキャンの設定を変更する

起動するアプリケーションやスキャン時の設定は、以下の手順で変更できます。

［Ctrl］キーを押しながらボタンをクリックします。

［ControlCenter の設定］タブをクリックし、内容を設定します。

［本体スキャンボタンの設定］タブをクリックすると、本機のスキャンボタンからスキャンする動作を設定できます。

例）「イメージ」の場合

カスタム：Macintosh®

よく使用する設定やソフトウェアを登録して、クリックするだけでスキャンできます。よく使う設定を 4 つまで登録できます。

よく使う設定を登録する

1 ［Ctrl］キーを押しながらボタンをクリックします。

「カスタム」ダイアログボックスが表示されます。

2 「カスタムの名前」に名前を入力します。

3 スキャンの種類を選択します。

スキャンの種類は「イメージ」「OCR」「E メール」「ファイル」から選びます。

4 「設定」タブで他の項目を必要に応じて設定します。

［OK］をクリックします。

設定した内容で登録されます。

スキャンを実行する

原稿をセットして設定したボタンをクリックする

設定に従ってスキャンが実行されます。

コピー /PC-FAX：Macintosh®

原稿をコピーしたり、パソコンからファクスをします。コピーとファクス送信の設定を４つまで登録できます。

コピーの設定を登録する

［Ctrl］キーを押しながらボタンをクリックします。

「コピー」ダイアログボックスが表示されます。

2

「コピーの名前」に名前を入力します。

「コピーの名前」を選択します。

「コピー設定」は、「用紙サイズに合わせる」または「100％」から選びます。

4 他の項目を必要に応じて設定します。

5 ［OK］をクリックします。

設定した内容で登録されます。

コピーを実行する

1 原稿をセットして設定したボタンをクリックする

設定に従ってコピーが実行されます。

PC ファクスを送信する

1 原稿をセットして、［Ctrl］キーを押しながらボタンをクリックします。

「コピー」ダイアログボックスが表示されます。

2 「プリンタ」でお使いのモデル名を選択します。

PC-FAX 送信の操作については、P. 106 の手順 3 以降をご覧ください。

デバイス設定：Macintosh®

リモートセットアップを使って本機の設定を確認できます。

①リモートセットアップ

パソコン上で本機に関する機能設定ができます。

リモートセットアップについては、「リモートセットアップ」P. 71を参照してください。

付　録

■ エラーメッセージが表示されたときは 134
■ 故障かな？と思ったときは 134
■ 使用環境 135
パソコン環境〔Windows®〕... 135
パソコン環境〔Macintosh®〕... 136
■ 索　引 139
■ アフターサービスのご案内 141

エラーメッセージが表示されたときは

液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されたときは、取扱説明書の「エラーメッセージ」P. 229をご確認ください。
取扱説明書に記載の処置を行ってもエラーが解決しないときは、お客様相談窓口 0120-143410 へ連絡してください。

故障かな？と思ったときは

故障かな？と思ったとときは、取扱説明書の「故障かな？と思ったときは」P. 241をご確認ください。
取扱説明書に記載の処置を行ってもエラーが解決しないときは、お客様相談窓口 0120-143410 へ連絡してください。

使用環境

パソコン環境〔Windows®〕

本機とパソコンを接続してお使いいただくには、以下のパソコン環境が必要になります。また当社ホームページ（http://solutions.brother.co.jp）で最新のドライバ対応状況についてご確認ください。

OS/CPU/ メモリー

- Windows® 98/98SE/Me/2000 Professional, Windows NT® 4.0 (SP6 以降)
  Pentium® II プロセッサ (Pentium® 互換 CPU 含む) 以上 /64MB (推奨 128MB) 以上
- Windows® XP
  Pentium® II プロセッサ 300MHz（Pentium® 互換 CPU 含む）以上 /128MB（推奨 256MB）以上

ディスク容量

300MB 以上の空き容量

CD-ROM ドライブ

2 倍速以上必須

インターフェース

Hi-Speed USB 2.0
パラレル
ネットワーク（10Base-T）/（100Base-TX）

補足

- USB ケーブル、パラレルケーブル、ネットワークケーブルは市販のものをお使いください。
- USB ケーブル、パラレルケーブルは長さが 2.0m 以下のものをお使いください。
- お使いのパソコンが Hi-Speed USB 2.0 に対応している場合は、Hi-Speed USB 2.0 の動作が保証されたケーブルをお使いください。
  (Hi-Speed USB 2.0 の動作が保証されたケーブルには認証ロゴがはいっています)。
- メモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。
- USB 接続は、次のパソコンに対応しています。
  - Windows® 98/98SE/Me/2000/XP のプレインストールモデル
  - 以下のアップグレードモデル
    Windows® 98/98SE → Windows® Me/2000/XP
    Windows® Me → Windows® 2000/XP
    Windows® 2000 → Windows® XP
- Windows® 2000 Professional/XP, Windows NT® 4.0 を使用してる場合は、アドミニストレータ（Administrator）権限でログインする必要があります。

パソコン環境〔Macintosh®〕

本機とパソコンを接続してお使いいただくには、以下のパソコン環境が必要になります。
お使いいただいているパソコンのOSによって本機で使用できる機能が異なります。

OS ／メモリー

Mac OS® 8.6 ～ 9.2 ／ 32MB（推奨 64MB）以上
Mac OS® X 10.1 または 10.2.1 以降／ 128MB（推奨 160MB）以上

CPU

- Power PC G3 以上
- Power PC G4 対応

ディスク容量

280MB の空き容量

CD-ROM ドライブ

2 倍速以上必須

インターフェース

USB
ネットワーク

- OS 対応表
  お使いいただいているパソコンの OS によって本機で使用できる機能が異なります。

	Mac OS®	Mac OS® X	
	8.6 ～ 9.2	10.1	10.2.1 以降
プリンタ	○	○	○
スキャナ	○	×	○
Presto!® PageManager®	○	○	○
PC-FAX ソフトウェア	○	○	○
リモートセットアップ	×	○	○
ControlCenter2.0	×	×	○

当社ホームページ（http://solutions.brother.co.jp）で最新のドライバ対応状況についてご確認ください。

補足

- USB ケーブル、ネットワークケーブルは市販のものをお使いください。
- USB ケーブルは長さが 2.0m 以下のものをお使いください。
- メモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。
- Mac OS® 9.0.2/9.0.3 をお使いの場合は、Mac OS® 9.0.4 へのアップグレードが必要となります。
- Mac OS® X 10.2 をお使いの場合は、Mac OS® X 10.2.1 へのアップグレードが必要となります。

索　引

数字

2400 × 600dpi 出力 16
24 ビットカラー 67
256 階調グレイ 67
2L 判 58
8 ビットカラー 67

A

A4 58
A5 58

B

B5 58

C

ControlCenter2.0 .... 111, 112, 123

I

IEEE1284 16

L

L 判 58

M

Macintosh® でスキャニングする ...66

O

OHP フィルム 16

P

PC-FAX ... 82, 121, 122, 130, 132

U

USB 16

W

WIA 62

い

イメージ 67
イメージ調整 68
色数 58, 67
印刷する 18

え

エクゼクティブ 58
エラーメッセージが表示されたときは
......................................134

か

解像度 57, 67
カスタム 117, 128
画像をテキストに変換する〔OCR 機能〕
....55
カラー 58

く

グレイ 67
グレースケール 58

け

原稿サイズ 58
原稿をスキャンする 56, 61

こ

故障かな？と思ったときは 134
コピー 119, 130
困ったときには 134
コントラスト 68

し

自動両面印刷 18
白黒 58, 67

す

スキャナウィンドの設定 67
スキャナとして使う 65
スキャン 115, 126
スキャン E メール 49
スキャン OCR 52
スキャンイメージ 51
スキャンエリア 68

スキャンファイル 53
スキャンボタンを使用する 49

せ

セキュリティ印刷 24, 36

そ

双方向パラレルインターフェース
....16

た

多目的トレイ 19

ち

調整 68

て

デバイス設定 122, 132

ね

ネットワークスキャン機能 69

は

ハイスピード印刷 16
ハガキ 58

ふ

封筒 16
普通紙 16
プリンタとして使用する前に 16
プリンタとしての特長 16

め

名刺 58

ゆ

ユーザー定義サイズ 58

り

リーガル 58
リモートセットアップ 71
両面印刷 18

れ

レター 58

アフターサービスのご案内

この度は本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご愛用いただきます製品が、安心してご使用いただけますよう下記窓口を設置しております。
ご不明な点、もしくはお問い合わせなどございましたら下記までご連絡ください。
その際、ディスプレイにどのような表示が出ているかなどをおたずねいたしますので、あらかじめご確認いただけますと助かります。

【MFCお客様お問い合わせ窓口】

お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）TEL：0120-143410
受付時間　9：00～20：00（土曜日のみ17：00まで）
営業日　月曜日～土曜日（日・祝日および当社休日はお休みとさせていただきます）

【消耗部品のお問い合わせ窓口】

ブラザー販売（株）情報機器事業部　ダイレクトクラブ
〒467-8577　名古屋市瑞穂区苗代町15-1
TEL：0120-118-825　FAX：（052）825-0311
インターネット：http://www.brother.co.jp/direct/

【 添付ソフトウェア（Presto!® PageManager®） サポート窓口】

ニューソフトジャパン株式会社
ニューソフトカスタマーサポートセンター
TEL：03-5472-7008　FAX：03-5472-7009
受付時間　午前10：00～12：00　午後1：00～5：00（土日・祝日を除く）
テクニカルサポート　電子メール：support@newsoft.co.jp
ホームページ：http://www.newsoft.co.jp/

- 消耗品については、お買い上げの販売店にてお買い求めください。
- 万一、販売店よりお買い求めできない場合は、弊社ダイレクトクラブにて対応させていただきます。なお、FAXにてご注文いただく場合は、取扱説明書の「ご注文シート」を印刷してご活用ください。
- トナーカートリッジ・ドラムユニットは当社指定品をお使いください。当社指定以外の品物をお使いいただくと、故障の原因になります。
  純正品のブラザートナーカートリッジ・ドラムユニットをご使用いただいた場合のみ機能・品質を保証いたします。
- 本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は製造締め切り後５年です。
- 本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
- Brother Solutions Center（ブラザーソリューションセンター）(http://solutions.brother.co.jp)では、最新バージョンのプリンタドライバやソフトウェアをダウンロードすることができます。また、Q&A、便利な機能紹介、その他プリンタをお使いいただく上で有益な情報をご用意しております。ぜひご利用ください。

ブラザー工業株式会社
〒467-8561 名古屋市瑞穂区苗代町15-1

brother

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。
現地での各国の通信規格に反する場合や、現地で使用されている電源が
本製品に適切でないおそれがあります。
海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。
また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only.
We can not recommend using them overseas
because it may violate the Telecommunications Regulations of
that country and the power requirements of your fax machine
may not be compatible with the power available in foreign countries.
Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。